

**高度外国人材のインターナショナルスクールに係るニーズ調査
報 告 書**

令和 6 年 3 月

大阪府・大阪市

(調査委託先：阪急阪神不動産株式会社)

目次

I. 調査概要	1
1. 目的	1
2. 実施概要	1
(1) 調査対象	1
(2) 調査方法	1
(3) 調査期間	1
(4) 調査項目	1
3. 集計方法	1
(1) 単純集計	1
(2) クロス集計	2
(3) 自由記述	2
4. 回収結果	2
II. 調査結果のポイント	3
1. 回答者の属性について	3
2. インターの利用実態と今後のニーズ	3
2-1. 現在通っているインターの実態	3
2-2. 今後、インターに通わせる場合のニーズ	3
3. 海外勤務の要望	4
4. 大学への進学	4
III. 調査の結果	5
1. 回答者の属性	5
(1) 年齢	5
(2) 性別	7
(3) 勤務先	9
(4) 個人年収	11
(5) 世帯年収	13
(6) 家族構成	15
(7) 子どもの通学先	17
(8) インターへの転校の意向	19

2. インターの利用実態と今後のニーズ	21
2-1. 現在通っているインターの実態.....	21
（1）現在通っているインターの通学制度	21
（2）インター入学時の教育課程	23
（3）インターまでの距離（公共交通機関の利用を想定）	25
（4）1人あたり年間の授業料.....	27
（5）授業で主に使用する言語	29
（6）学校を選択する際に重視したこと	31
2-2. 今後、インターに通わせる場合のニーズ	33
（1）インターに変更する場合の通学制度への希望.....	33
（2）インターに変更する場合の入学課程.....	34
（3）インターまでの距離の希望（公共交通機関の利用を想定） ..	35
（4）1人あたり年間の授業料の希望	36
（5）授業で主に使用する言語の希望	37
（6）学校を選択する際に重視すること	39
3. 海外勤務の要望	41
（1）希望する勤務地	41
（2）転勤に関する家庭内の決定権	43
（3）海外勤務する場合の家族の同伴.....	45
（4）居住環境に最も重視すること.....	47
（5）転勤先の教育環境の重要度	49
（6）海外勤務先における子どもの通学先の希望	51
（7）インター就学に際した勤務先からの補助の有無	53
4. 大学への進学.....	55
5. その他の自由記述.....	57
IV. 調査票.....	60
1. 日本語版	60
2. 英語版	67

I. 調査概要

1. 目的

○大阪への金融系外国企業の誘致、並びにそれに伴う高度外国人材の生活環境の整備に向けた基礎情報として、インターナショナルスクール（以下「インター」という）に関するニーズを把握することを目的として、調査を実施した。

2. 実施概要

（1）調査対象

○高度人材の抽出にあたり、外資系金融企業に勤務する人材を想定し、年収 1,500 万円以上の者を対象とした。
○国際金融都市として発展するなど、高度外国人材が多く居住すると考えられる、大阪の企業誘致等のターゲットとなり得る国・地域から調査先（イギリス・香港・インド・シンガポール・中国）を選定のうえ、当該国・地域に所在する者を対象とした。

（2）調査方法

○ウェブ調査会社（GMO リサーチ & AI 株式会社）の有する海外モニターに対する、オンラインアンケート調査
○使用言語：英語のみ

（3）調査期間

○2024 年 3 月 21 日～3 月 29 日

（4）調査項目

○回答者の属性（年齢、性別、勤務先、個人年収、世帯年収、家族構成、子どもの通学先、インターへの転校の意向）
○現在通っているインターの実態（通学制度、入学時の教育課程、インターまでの距離、授業料、使用言語、学校を選択した際に重視したこと）
○今後、インターに通わせる場合のニーズ（通学制度、入学時の教育課程、インターまでの距離の希望、授業料の希望、使用言語、学校を選択する際に重視すること）
○海外勤務の要望（希望地勤務地、転勤に関する家庭内の決定権、海外勤務する際の家族の同伴、居住環境に最も重視すること、転勤先の教育環境の重要度、海外勤務先で子どもの通学先、インター就学に際する勤務先からの支援）
○大学への進学希望
○自由記述

3. 集計方法

（1）単純集計

○すべての設問について構成比及びグラフを掲載している。ただし、構成比は小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも 100%にはならない。
○「家族構成」については、「単身者」、「配偶者 + 子どもなし」、「配偶者 + 子どもあり」、「単身者 + 子どもあり」の 4 つ

の項目で集計を行う。

○インターに通わせている対象者に対する「学校を選択する際に重視したこと」、及びインターに通わせていない対象者に対する「学校を選択する際に重視すること」については、各選択肢における「1 位」「2 位」「3 位」の回答に対して加重配点を実施し、選択肢ごとの得点を回答者数で除算する（加重平均方式）。配点ルールは次の通り：「1 位」の選択肢には 3 点、「2 位」の選択肢には 2 点、「3 位」の選択肢には 1 点を配点する。

（2）クロス集計

○回答者の「国・地域別」、「勤務先別」、「世帯年収別」の 3 つの軸をもとに、クロス集計・分析を行う。なお、回答者の母数が少なく統計的有意性を見出しがたい場合は、分析を省略し、集計結果のみ掲載している。

（3）自由記述

○回答内容ごとにグルーピングを実施する。なお、一つの回答に複数の内容が含まれる場合は、回答内容を分割して各グループに整理する。

4. 回収結果

○回収件数 425 件（目標件数 300 件）

対象国	イギリス	香港	インド	シンガポール	中国	全体
目標件数	60 件	60 件	60 件	60 件	60 件	300 件
回収件数	88 件	86 件	79 件	87 件	85 件	425 件
達成率	146.7%	143.3%	131.7%	145.0%	141.7%	141.7%

II. 調査結果のポイント

1. 回答者の属性について

- 「年齢」では、「30 歳代」と「40 歳代」が 6 割を占める。インドでは「20 歳代」の割合が高い。
- 「性別」では、「男性」が 6 割、「女性」が 4 割。
- 「勤務先」では、「その他」（4 割）が最も多く、「金融業・保険業」（2 割）と続く。イギリスでは「金融業・保険業」（3 割）の割合が高く、中国において「学術研究、専門・技術サービス業」（2.5 割）の割合が高い。
- 「個人年収」では、「2,500 万円未満」が 5 割を占める。中国では「4,000 万円以上」（1 割）の割合が高い。
- 「世帯年収」では、「3,000 万円未満」が 7 割を占める。中国では「4,000 万円以上」（4 割）の割合が高い。
- 「家族構成」では、「配偶者と子どもがいる」（4 割）が最も多い。イギリスでは「配偶者と子どもがいる」（5 割）の割合が高く、香港では「単身」（4 割）の割合が高い。
- 「子どもの通学先」（子どものいる家庭が対象）では、「全員または一部がインターに通っている」が 6 割を占め、中国では 8 割以上を占める。一方、シンガポールでは「全員が現地の学校に通っている」が 6 割を占める。
- 「インターへの転校の意向」（子どもを全員現地の学校に通わせている家庭が対象）では、「検討している」が 6 割を占める。イギリスでは「検討している」（7 割）の割合がさらに高い。

2. インターの利用実態と今後のニーズ

2-1. 現在通っているインターの実態

- 「通学制度」では、「通学制」が 7 割、「寄宿舎制」が 3 割である。香港では「通学制」が 9 割以上を占める。
- 「インター就学時の教育課程」（寄宿舎制を利用している家庭が対象）では、「小学校相当」（4 割）が最も多く、「高等学校相当」（3 割）と続く。
- 「インターまでの距離」（通学制を利用している家庭が対象）では、「通学時間が「1 時間未満」が 7 割を占める。シンガポールでは、「1 時間 30 分未満」までの割合が高い。
- 「一人あたりの年間授業料」では、「3 万米ドル以内」（3 割）が最も多く、「2 万米ドル以内」（2 割）と続く。インドでは「1 万米ドル以内」（3 割）が最も多く、全体的に低めである。一方、シンガポールでは「3 万米ドル以内」が過半数を占め、全体的に高めである。
- 「授業で使用する言語」では、「英語」が 8 割以上を占める。イギリスとインドではほぼ全てが英語である。一方、中国や香港などの中華圏では、「現地語」（2.5 割）の割合が高い。
- 「学校選択時に重視した点」では、「採用しているカリキュラム」や「教員の質」、「学校の国際認証」が重視されている。

2-2. 今後、インターに通わせる場合のニーズ

- 「通学制度」では、「通学制」が半数を占め、「寄宿舎制」が 2 割、「どちらでも良い」が 3 割である。
- 「インターに変更する場合の入学課程」（寄宿舎制を希望している家庭が対象）では、「高等学校相当」（6 割）が最も多く、「中学校相当」（3 割）と続く。
- 「インターまでの距離」（「通学制」または「どちらでも良い」を希望している家庭が対象）では、「通学時間が「1 時間未満」が 9 割を占める。
- 「一人あたりの年間授業料」では、「2 万米ドル以内」及び「3 万米ドル以内」がそれぞれ 3 割ずつとなっている。

○「授業で主に使用する言語」では、「英語」が大半を占め、「現地語」は 1 割以下である。

○「学校選択時に重視する点」では、「教員の質」が最も重視され、「大学進学実績」が続く。

3. 海外勤務の要望

○「希望する勤務地」では、「欧州」と「日本以外のアジア」がそれぞれ 4 割となっている。イギリスでは「欧州」（8 割）の割合が高く、香港やシンガポールでは「日本以外のアジア」（それぞれ 6 割）の割合が高い。

○「転勤に関する家庭内の決定権」では、「どちらかといえば自分」が 9 割を占める。

○「海外勤務する場合の家族の同伴」では、「同伴する可能性が高い」が 7 割を占める。インドでは「同伴する可能性が高い」（8 割）の割合がさらに高い。

○「居住環境に最も重視すること」では、「住宅環境」（6 割）が最も多く、「医療環境」（2 割）が続く。イギリスでは「教育環境」（2 割）の割合が高く、中国では「医療環境」（5 割）の割合が高い。

○「転勤先の教育環境の重要度」では、「とても重要」及び「重要」が 8 割を占める。イギリスでは同割合（9 割）がさらに高い。

○「海外勤務先における子どもの通学先の希望」では、「インター」が 6 割を占める。インドでは「インター」（8 割）の割合がさらに高い。

○「インター就学に際した勤務先からの補助」では、「ある」（6 割）が多く、「ない」（3 割）が少なくなっている。中国では、「ある」（9 割）の割合が高い。

4. 大学への進学

○「大学進学先」では、「欧米の名門大学」（7 割）が最も多く、「その他の欧米の公立大学」（4 割）が続く。イギリスでは「欧米の名門大学」（8 割）の割合が高い。インドも、「欧米の名門大学」（7 割）、「その他欧米の公立大学」（5 割）の順で、その次に「日本の名門大学」（4.5 割）となっている。

III. 調査の結果

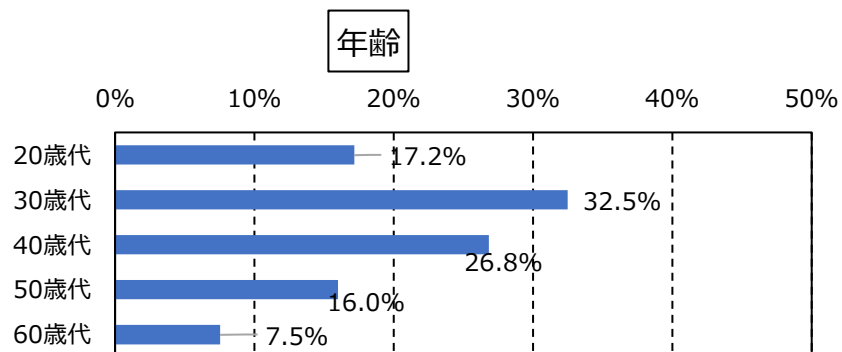
1. 回答者の属性

(1) 年齢〔SA / n=425〕

設問：あなたの年齢をお知らせください。

【全体】

○「30 歳代」(32.5%)が最も多く、続いて「40 歳代」(26.8%)となっている。



【国・地域別】

○インドでは「30 歳代」以下の割合が高く、6 割以上を占めている。

○イギリスでは「30 歳代」(43.2%)の割合が高い。

【勤務先別】

○金融業・保険業及び情報通信業では「20 歳代」（それぞれ 24.2%、25.0%）の割合が高い。

【世帯年収別】

○特徴的な傾向は見られない。

○国・地域別

SA / n=425

No	年齢	イギリス	香港	インド	シンガポール	中国	全体
1	20歳代	19.3%	20.9%	25.3%	14.9%	5.9%	17.2%
2	30歳代	43.2%	25.6%	40.5%	25.3%	28.2%	32.5%
3	40歳代	21.6%	33.7%	20.3%	35.6%	22.4%	26.8%
4	50歳代	10.2%	16.3%	8.9%	19.5%	24.7%	16.0%
5	60歳代	5.7%	3.5%	5.1%	4.6%	18.8%	7.5%
6	上記以外	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

○勤務先別

SA / n=425

No	年齢	金融業・ 保険業	学術研究、 専門・技術 サービス業	製造業	情報通 信業	フリー ランス	その他	全体
1	20歳代	24.2%	18.8%	12.2%	25.0%	5.3%	15.1%	17.2%
2	30歳代	29.7%	39.1%	33.8%	15.0%	31.6%	32.9%	32.5%
3	40歳代	27.5%	26.1%	28.4%	35.0%	26.3%	25.0%	26.8%
4	50歳代	13.2%	11.6%	17.6%	25.0%	26.3%	16.4%	16.0%
5	60歳代	5.5%	4.3%	8.1%	0.0%	10.5%	10.5%	7.5%
6	上記以外	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

○世帯年収別

SA / n=425

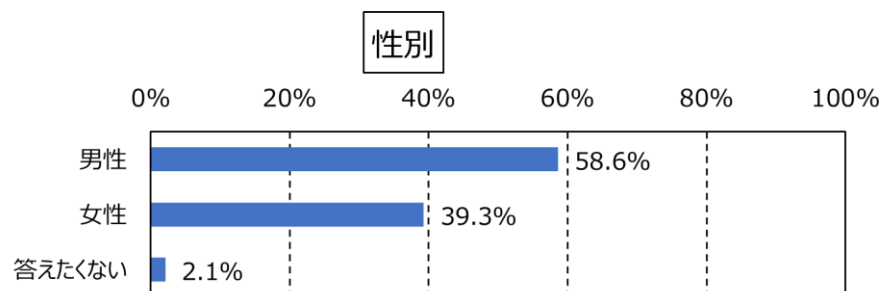
No	年齢	1,500万 円以上 2,000万 円未満	2,000万 円以上 3,000万 円未満	3,000万 円以上 4,000万 円未満	4,000万 円以上 5,000万 円未満	5,000万 円以上	全体
1	20歳代	15.0%	18.5%	18.9%	12.5%	23.8%	17.2%
2	30歳代	31.0%	31.5%	31.6%	36.3%	33.3%	32.5%
3	40歳代	27.0%	27.8%	27.4%	28.8%	19.0%	26.8%
4	50歳代	17.0%	13.9%	16.8%	18.8%	11.9%	16.0%
5	60歳代	10.0%	8.3%	5.3%	3.8%	11.9%	7.5%
6	上記以外	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

(2) 性別〔SA / n=425〕

設問：あなたの性別をお知らせください。

【全体】

○「男性」が 6 割、「女性」が 4 割となっている。



【国・地域別】

○香港では「女性」(44.2%)の割合が高い。

【勤務先別】

○製造業では「男性」(70.3%)の割合が高い。

○情報通信業及びフリーランスでは「女性」の割合が「男性」を上回っている。

【世帯年収別】

○5,000 万円以上の世帯では「女性」の割合が「男性」を上回っている。

○国・地域別

SA / n=425

No	性別	イギリス	香港	インド	シンガポール	中国	全体
1	男性	61.4%	55.8%	59.5%	64.4%	51.8%	58.6%
2	女性	38.6%	44.2%	40.5%	35.6%	37.6%	39.3%
3	答えたくない	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.6%	2.1%
合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

○勤務先別

SA / n=425

No	性別	金融業・ 保険業	学術研究、 専門・技術 サービス業	製造業	情報通 信業	フリーラ ンス	その他	全体
1	男性	62.6%	62.3%	70.3%	40.0%	36.8%	53.9%	58.6%
2	女性	37.4%	37.7%	28.4%	55.0%	52.6%	42.8%	39.3%
3	答えたくない	0.0%	0.0%	1.4%	5.0%	10.5%	3.3%	2.1%
合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

○世帯年収別

SA / n=425

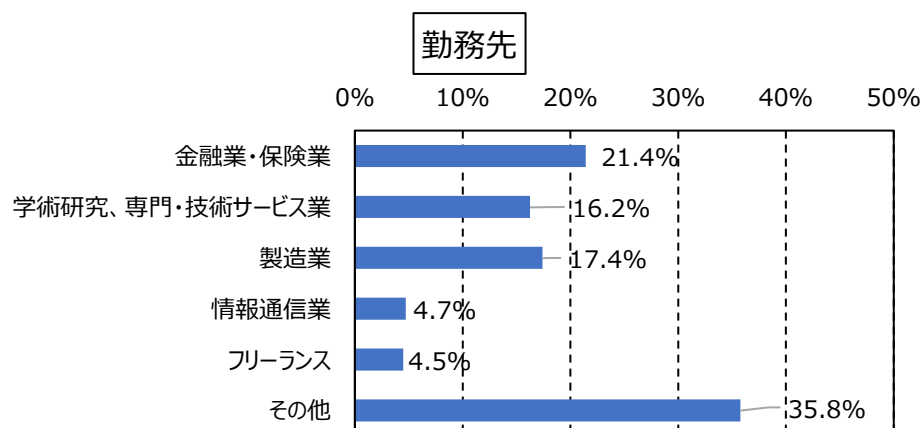
No	性別	1,500万 円以上 2,000万 円未満	2,000万 円以上 3,000万 円未満	3,000万 円以上 4,000万 円未満	4,000万 円以上 5,000万 円未満	5,000万 円以上	全体
1	男性	63.0%	64.8%	56.8%	52.5%	47.6%	58.6%
2	女性	36.0%	32.4%	42.1%	43.8%	50.0%	39.3%
3	答えたくない	1.0%	2.8%	1.1%	3.8%	2.4%	2.1%
合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

（３）勤務先〔SA / n=425〕

設問：あなたが務めている勤務先に最も近いものをお知らせください。

【全体】

○「その他」(35.8%)が最も多く、続いて「金融業・保険業」(21.4%)となっている。



【国・地域別】

○イギリスでは「金融業・保険業」(28.4%)の割合が高い。

○中国では「学術研究、専門・技術サービス業」(24.7%)の割合が高い。

【勤務先別】

○省略

【世帯年収別】

○4,000 万円以上 5,000 万円未満の世帯では「製造業」(30.0%)の割合が高い。

○国・地域別

SA / n=425

No	勤務先	イギリス	香港	インド	シンガポール	中国	全体
1	金融業・保険業	28.4%	23.3%	17.7%	13.8%	23.5%	21.4%
2	学術研究、専門・技術サービス業	10.2%	9.3%	20.3%	17.2%	24.7%	16.2%
3	製造業	11.4%	9.3%	17.7%	26.4%	22.4%	17.4%
4	情報通信業	4.5%	7.0%	2.5%	8.0%	1.2%	4.7%
5	フリーランス	1.1%	2.3%	7.6%	0.0%	11.8%	4.5%
6	その他	44.3%	48.8%	34.2%	34.5%	16.5%	35.8%
合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

○世帯年収別

SA / n=425

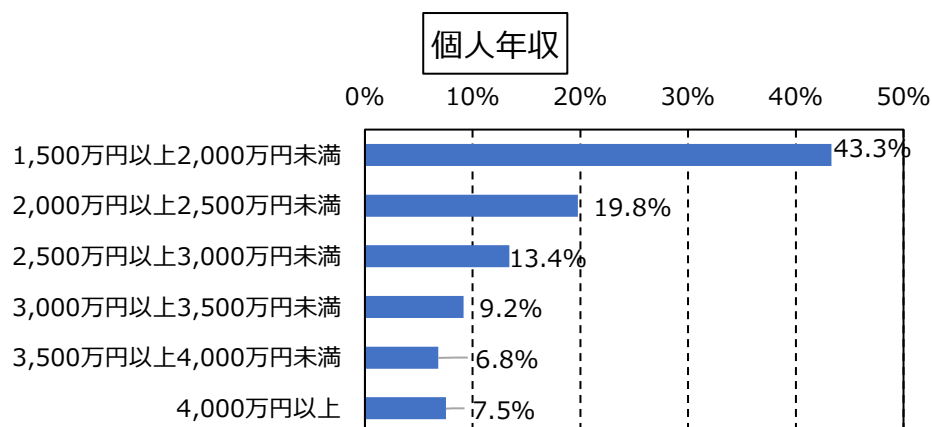
No	勤務先	1,500万円以上 2,000万円未満	2,000万円以上 3,000万円未満	3,000万円以上 4,000万円未満	4,000万円以上 5,000万円未満	5,000万円以上	全体
1	金融業・保険業	26.0%	13.9%	23.2%	23.8%	21.4%	21.4%
2	学術研究、専門・技術サービス業	13.0%	13.0%	23.2%	17.5%	14.3%	16.2%
3	製造業	21.0%	13.9%	10.5%	30.0%	9.5%	17.4%
4	情報通信業	2.0%	7.4%	4.2%	5.0%	4.8%	4.7%
5	フリーランス	2.0%	5.6%	6.3%	5.0%	2.4%	4.5%
6	その他	36.0%	46.3%	32.6%	18.8%	47.6%	35.8%
合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

(4) 個人年収〔SA / n=425〕

設問： あなたの個人年収をお知らせください。

【全体】

○「1,500 万円以上 2,000 万円未満」(43.3%)が最も多く、続いて「2,000 万円以上 2,500 万円未満」(19.8%)となっている。



【国・地域別】

○中国では、全体的に高所得者の割合が高く、とりわけ「4,000 万円以上」(12.9%)の割合が高い。

【勤務先別】

○情報通信業では「2,000 万円以上 2,500 万円未満」(35.0%)の割合が高い。

【世帯年収別】

○特徴的な傾向は見られない。

○国・地域別

SA / n=425

No	個人年収	イギリス	香港	インド	シンガポール	中国	全体
1	1,500万円以上2,000万円未満	38.6%	50.0%	51.9%	43.7%	32.9%	43.3%
2	2,000万円以上2,500万円未満	20.5%	20.9%	15.2%	21.8%	20.0%	19.8%
3	2,500万円以上3,000万円未満	19.3%	9.3%	7.6%	16.1%	14.1%	13.4%
4	3,000万円以上3,500万円未満	9.1%	9.3%	6.3%	9.2%	11.8%	9.2%
5	3,500万円以上4,000万円未満	6.8%	4.7%	8.9%	5.7%	8.2%	6.8%
6	4,000万円以上	5.7%	5.8%	10.1%	3.4%	12.9%	7.5%
合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

○勤務先別

SA / n=425

No	個人年収	金融業・ 保険業	学術研究、 専門・技術 サービス業	製造業	情報通 信業	フリー ランス	その他	全体
1	1,500万円以上2,000万円未満	41.8%	46.4%	43.2%	25.0%	36.8%	46.1%	43.3%
2	2,000万円以上2,500万円未満	19.8%	18.8%	12.2%	35.0%	21.1%	21.7%	19.8%
3	2,500万円以上3,000万円未満	14.3%	10.1%	13.5%	15.0%	21.1%	13.2%	13.4%
4	3,000万円以上3,500万円未満	6.6%	11.6%	16.2%	15.0%	5.3%	5.9%	9.2%
5	3,500万円以上4,000万円未満	9.9%	8.7%	6.8%	10.0%	5.3%	3.9%	6.8%
6	4,000万円以上	7.7%	4.3%	8.1%	0.0%	10.5%	9.2%	7.5%
合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

○世帯年収別

SA / n=425

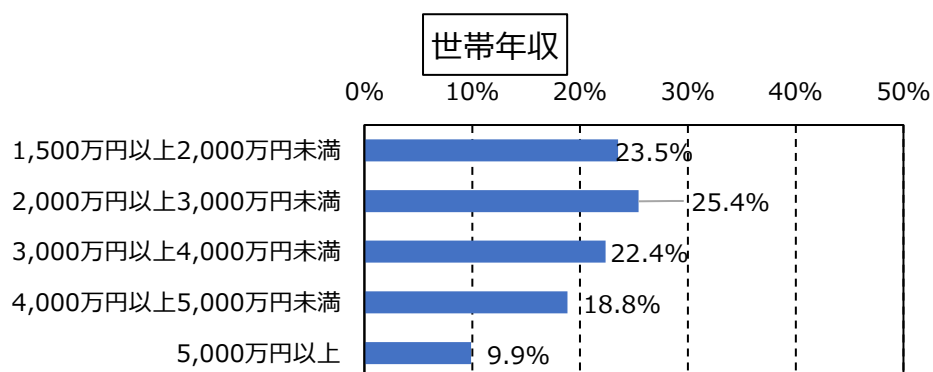
No	個人年収	1,500万 円以上 2,000万 円未満	2,000万 円以上 3,000万 円未満	3,000万 円以上 4,000万 円未満	4,000万 円以上 5,000万 円未満	5,000万 円以上	全体
1	1,500万円以上2,000万円未満	100.0%	53.7%	21.1%	6.3%	2.4%	43.3%
2	2,000万円以上2,500万円未満	0.0%	32.4%	37.9%	11.3%	9.5%	19.8%
3	2,500万円以上3,000万円未満	0.0%	13.9%	17.9%	28.8%	4.8%	13.4%
4	3,000万円以上3,500万円未満	0.0%	0.0%	13.7%	26.3%	11.9%	9.2%
5	3,500万円以上4,000万円未満	0.0%	0.0%	9.5%	17.5%	14.3%	6.8%
6	4,000万円以上	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%	57.1%	7.5%
合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

(5) 世帯年収 [SA / n=425]

設問：あなたの世帯年収をお知らせください。

【全体】

○「2,000 万円以上 3,000 万円未満」(25.4%)が最も多く、続いて「1,500 万円以上 2,000 万円未満」(23.5%)となっている。



【国・地域別】

○中国では「4,000 万円以上 5,000 万円未満」(28.2%)の割合が高い。

【勤務先別】

○情報通信業では「2,000 万円以上 3,000 万円未満」(40.0%)の割合が高い。

【世帯年収別】

○省略

○国・地域別

SA / n=425

No	世帯年収	イギリス	香港	インド	シンガポール	中国	全体
1	1,500万円以上2,000万円未満	15.9%	29.1%	29.1%	20.7%	23.5%	23.5%
2	2,000万円以上3,000万円未満	33.0%	25.6%	31.6%	23.0%	14.1%	25.4%
3	3,000万円以上4,000万円未満	27.3%	22.1%	12.7%	27.6%	21.2%	22.4%
4	4,000万円以上5,000万円未満	18.2%	11.6%	20.3%	16.1%	28.2%	18.8%
5	5,000万円以上	5.7%	11.6%	6.3%	12.6%	12.9%	9.9%
	合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

○勤務先別

SA / n=425

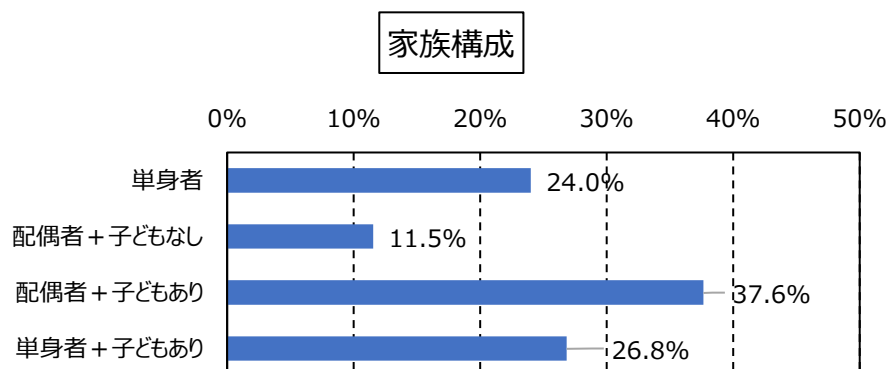
No	世帯年収	金融業・ 保険業	学術研究、 専門・技術 サービス業	製造業	情報通 信業	フリー ランス	その他	全体
1	1,500万円以上2,000万円未満	28.6%	18.8%	28.4%	10.0%	10.5%	23.7%	23.5%
2	2,000万円以上3,000万円未満	16.5%	20.3%	20.3%	40.0%	31.6%	32.9%	25.4%
3	3,000万円以上4,000万円未満	24.2%	31.9%	13.5%	20.0%	31.6%	20.4%	22.4%
4	4,000万円以上5,000万円未満	20.9%	20.3%	32.4%	20.0%	21.1%	9.9%	18.8%
5	5,000万円以上	9.9%	8.7%	5.4%	10.0%	5.3%	13.2%	9.9%
	合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

(6) 家族構成 [MA / n=425]

設問：あなたの家族構成を教えてください。（該当するものすべて選択してください）

【全体】

○「配偶者＋子どもあり」(37.6%)が最も多く、続いて「単身者＋子どもあり」(26.8%)となっている。



【国・地域別】

○香港では「単身」(37.2%)の割合が高い。

○イギリスでは「配偶者＋子どもあり」(53.4%)の割合が高い。

【勤務先別】

○製造業では、「配偶者＋子どもあり」(50%)の割合が高い。

○フリーランスでは、「単身者＋子どもあり」(47.4%)の割合が高い。

【世帯年収別】

○4,000 万円以上 5,000 万円未満の世帯では「配偶者＋子どもあり」(46.3%)の割合が高い。

○国・地域別

MA / n=425

No	家族構成	イギリス	香港	インド	シンガポール	中国	全体
1	単身者	14.8%	37.2%	30.4%	26.4%	11.8%	24.0%
2	配偶者+子どもなし	8.0%	11.6%	10.1%	13.8%	14.1%	11.5%
3	配偶者+子どもあり	53.4%	30.2%	49.4%	42.5%	12.9%	37.6%
4	単身者+子どもあり	23.9%	20.9%	10.1%	17.2%	61.2%	26.8%
	合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

○勤務先別

MA / n=425

No	家族構成	金融業・ 保険業	学術研究、 専門・技術 サービス業	製造業	情報通 信業	フリーラ ンス	その他	全体
1	単身者	31.9%	24.6%	12.2%	30.0%	15.8%	25.0%	24.0%
2	配偶者+子どもなし	12.1%	10.1%	8.1%	15.0%	15.8%	12.5%	11.5%
3	配偶者+子どもあり	34.1%	27.5%	50.0%	30.0%	21.1%	41.4%	37.6%
4	単身者+子どもあり	22.0%	37.7%	29.7%	25.0%	47.4%	21.1%	26.8%
	合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

○世帯年収別

MA / n=425

No	家族構成	1,500万 円以上 2,000万 円未満	2,000万 円以上 3,000万 円未満	3,000万 円以上 4,000万 円未満	4,000万 円以上 5,000万 円未満	5,000万 円以上	全体
1	単身者	31.0%	26.9%	22.1%	13.8%	23.8%	24.0%
2	配偶者+子どもなし	17.0%	10.2%	10.5%	11.3%	4.8%	11.5%
3	配偶者+子どもあり	32.0%	41.7%	32.6%	46.3%	35.7%	37.6%
4	子ども持ち	20.0%	21.3%	34.7%	28.8%	35.7%	26.8%
	合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

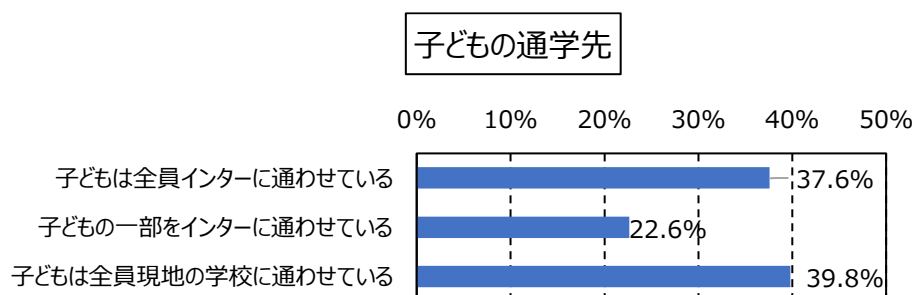
前問（６）家族構成 にて、「子どもあり」と回答した者のみを対象

（７）子どもの通学先〔SA / n=274〕

設問：あなたのお子様の通学先はインターですか。

【全体】

○「子どもは全員インターに通わせている」(37.6%)と「子どもの一部はインターに通わせている」(22.6%)を合わせると、インターに通わせている割合が 6 割以上を占めている。



【国・地域別】

○中国では、「子どもは全員インターに通わせている」(42.9%)と「子どもの一部をインターに通わせている」(42.9%)を合わせると、インターに通わせている割合が 8 割以上を占めている。

○シンガポールでは、「子どもは全員現地の学校に通っている」(63.5%)の割合が高い。

【勤務先別】

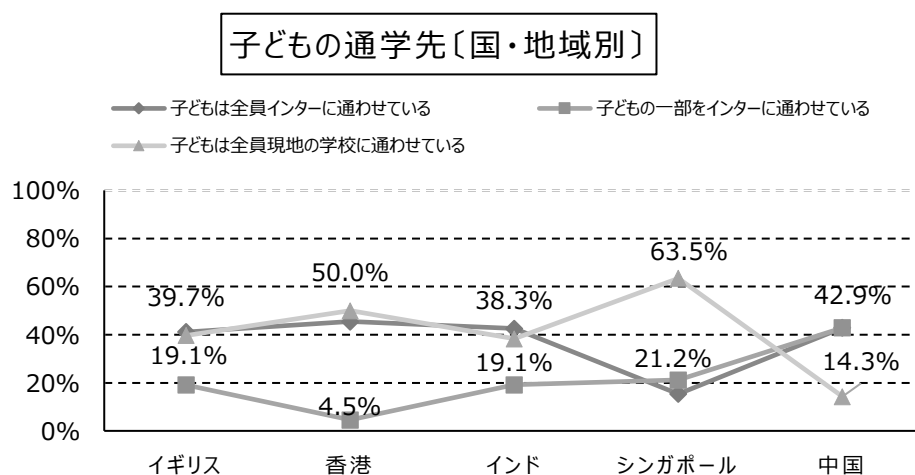
○製造業では「子どもは全員インターに通わせている」(45.8%)の割合が高い。

○学術研究、専門・技術サービス業では「子どもの一部をインターに通わせている」(44.4%)の割合が高く、「子どもは全員インターに通わせている」(37.8%)と合わせると、インターに通わせている割合が 8 割以上を占めている。

【世帯年収別】

○4,000 万円以上 5,000 万円未満の世帯では「子どもは全員インターに通わせている」(51.7%)の割合が高い。

○5,000 万円以上の世帯では「子どもは全員現地の学校に通わせている」(50.0%)の割合が高い。



○国・地域別

SA / n=274 ※子どもありの回答者を対象

No	子どもの通学先	イギリス	香港	インド	シンガポール	中国	全体
1	子どもは全員インターに通わせている	41.2%	45.5%	42.6%	15.4%	42.9%	37.6%
2	子どもの一部をインターに通わせている	19.1%	4.5%	19.1%	21.2%	42.9%	22.6%
3	子どもは全員現地の学校に通わせている	39.7%	50.0%	38.3%	63.5%	14.3%	39.8%
合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

○勤務先別

SA / n=274 ※子どもありの回答者を対象

No	子どもの通学先	金融業・保険業	学術研究、専門・技術サービス業	製造業	情報通信業	フリーランス	その他	全体
1	子どもは全員インターに通わせている	37.3%	37.8%	45.8%	18.2%	38.5%	34.7%	37.6%
2	子どもの一部をインターに通わせている	15.7%	44.4%	20.3%	27.3%	30.8%	15.8%	22.6%
3	子どもは全員現地の学校に通わせている	47.1%	17.8%	33.9%	54.5%	30.8%	49.5%	39.8%
合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

○世帯年収別

SA / n=274 ※子どもありの回答者を対象

No	子どもの通学先	1,500万円以上 2,000万円未満	2,000万円以上 3,000万円未満	3,000万円以上 4,000万円未満	4,000万円以上 5,000万円未満	5,000万円以上	全体
1	子どもは全員インターに通わせている	34.6%	36.8%	28.1%	51.7%	36.7%	37.6%
2	子どもの一部をインターに通わせている	17.3%	22.1%	29.7%	25.0%	13.3%	22.6%
3	子どもは全員現地の学校に通わせている	48.1%	41.2%	42.2%	23.3%	50.0%	39.8%
合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

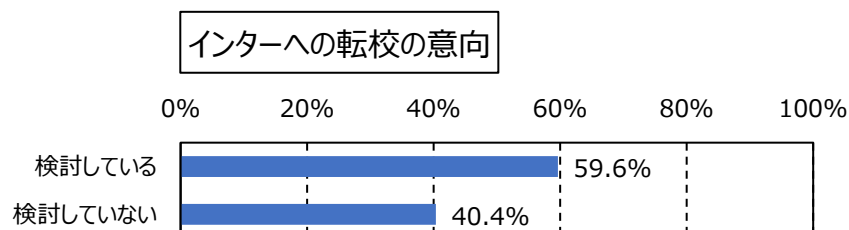
前問（７）子どもの通学先 にて、「子どもは全員現地の学校に通わせている」と回答した者のみを対象

（８）インターへの転校の意向〔SA / n=109〕

設問：あなたのお子様の通学先をインターに変更することはお考えですか。

【全体】

○「検討している」(59.6%)が過半数を占めている。



【国・地域別】

○イギリスでは「検討している」(70.4%)の割合が高い。

【勤務先別】

○金融業・保険業及び、学術研究、専門・技術サービス業では「インターへの転校を検討している」の割合が 7 割を占めている。

○フリーランスでは「インターへの転校を検討している」が 0 %である。

【世帯収入別】

○3,000 万円以上 4,000 万円未満の世帯では「検討している」(70.4%)の割合が高い。

SA / n=109

○国・地域別

※子ども全員現地の学校に通わせている回答者を対象

No	インターへの転校の意向	イギリス	香港	インド	シンガポール	中国	全体
1	検討している	70.4%	45.5%	66.7%	57.6%	55.6%	59.6%
2	検討していない	29.6%	54.5%	33.3%	42.4%	44.4%	40.4%
合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

SA / n=109

○勤務先別

※子ども全員現地の学校に通わせている回答者を対象

No	インターへの転校の意向	金融業・ 保険業	学術研究、 専門・技術 サービス業	製造業	情報通 信業	フリー ランス	その他	全体
1	検討している	66.7%	75.0%	55.0%	50.0%	0.0%	61.7%	59.6%
2	検討していない	33.3%	25.0%	45.0%	50.0%	100.0%	38.3%	40.4%
合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

SA / n=109

○世帯年収別

※子ども全員現地の学校に通わせている回答者を対象

No	インターへの転校の意向	1,500万 円以上 2,000万 円未満	2,000万 円以上 3,000万 円未満	3,000万 円以上 4,000万 円未満	4,000万 円以上 5,000万 円未満	5,000万 円以上	全体
1	検討している	56.0%	53.6%	70.4%	57.1%	60.0%	59.6%
2	検討していない	44.0%	46.4%	29.6%	42.9%	40.0%	40.4%
合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

2. インターの利用実態と今後のニーズ

本項（１）～（６）は、前問１．（７）子どもの通学先 にて、

「子どもは全員インターに通わせている」又は「子どもの一部をインターに通わせている」と回答した者のみを対象

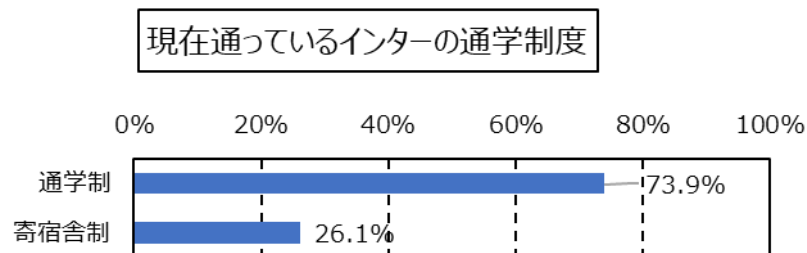
2-1. 現在通っているインターの実態

（１）現在通っているインターの通学制度〔SA / n=165〕

設問：お子様が現在通っているインターは通学制と寄宿舎制（ボーディングスクール）のどちらですか。

【全体】

○「通学制」(73.9%)が「寄宿舎制」(26.1%)より多くなっている。



【国・地域別】

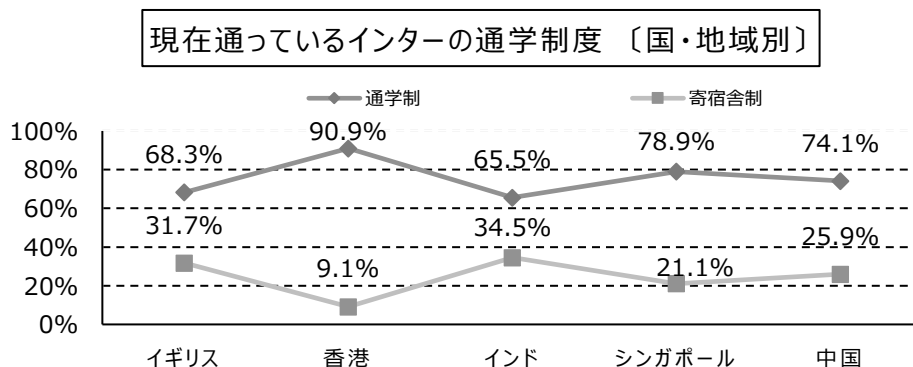
○香港では「通学制」の割合が 9 割を占めている。

【勤務先別】

○情報通信業では「通学制」が 100%である。

【世帯年収別】

○5,000 万円以上の世帯では「寄宿舎制」(40.0%)の割合が高い。



○国・地域別

SA / n=165

No	現在通っているインターの通学制度	イギリス	香港	インド	シンガポール	中国	全体
1	通学制	68.3%	90.9%	65.5%	78.9%	74.1%	73.9%
2	寄宿舎制	31.7%	9.1%	34.5%	21.1%	25.9%	26.1%
合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

○勤務先別

SA / n=165

No	現在通っているインターの通学制度	金融業・ 保険業	学術研究、 専門・技術 サービス業	製造業	情報通 信業	フリーラ ンス	その他	全体
1	通学制	77.8%	64.9%	79.5%	100.0%	66.7%	72.9%	73.9%
2	寄宿舎制	22.2%	35.1%	20.5%	0.0%	33.3%	27.1%	26.1%
合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

○世帯年収別

SA / n=165

No	現在通っているインターの通学制度	1,500万 円以上 2,000万 円未満	2,000万 円以上 3,000万 円未満	3,000万 円以上 4,000万 円未満	4,000万 円以上 5,000万 円未満	5,000万 円以上	全体
1	通学制	63.0%	77.5%	78.4%	78.3%	60.0%	73.9%
2	寄宿舎制	37.0%	22.5%	21.6%	21.7%	40.0%	26.1%
合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

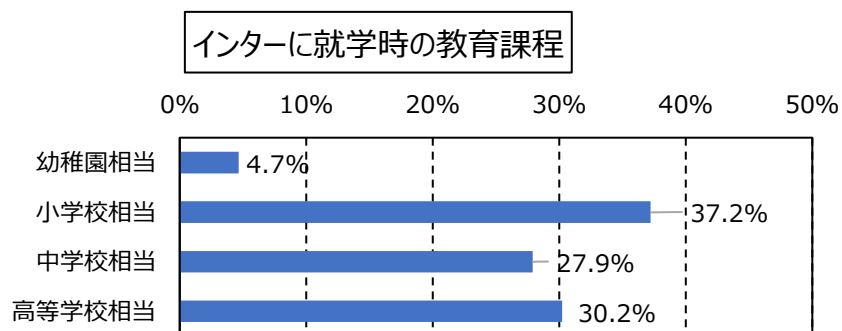
前問（１）現在通っているインターの通学制度 にて、「寄宿舍制」と回答した者のみを対象

（２）インター入学時の教育課程〔SA / n=43〕

設問：お子様はどの課程から入学させていますか。

【全体】

○「小学校相当」(37.2%)が最も多く、続いて「高等学校相当」(30.2%)となっている。



※母数が少なく、クロス集計による有意性は見出し難いため、分析は省略し結果のみ掲載。

○国・地域別

SA / n=43 ※通学制度で「寄宿舎制」を回答した方を対象

No	インターに入学時の教育課程	イギリス	香港	インド	シンガポール	中国	全体
1	幼稚園相当	7.7%	0.0%	10.0%	0.0%	0.0%	4.7%
2	小学校相当	23.1%	50.0%	20.0%	50.0%	57.1%	37.2%
3	中学校相当	23.1%	50.0%	30.0%	25.0%	28.6%	27.9%
4	高等学校相当	46.2%	0.0%	40.0%	25.0%	14.3%	30.2%
合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

○勤務先別

SA / n=43 ※通学制度で「寄宿舎制」を回答した方を対象

No	インターに入学時の教育課程	金融業・ 保険業	学術研究、 専門・技術 サービス業	製造業	情報通 信業	フリー ランス	その他	全体
1	幼稚園相当	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	7.7%	4.7%
2	小学校相当	16.7%	61.5%	12.5%	0.0%	33.3%	38.5%	37.2%
3	中学校相当	33.3%	23.1%	37.5%	0.0%	33.3%	23.1%	27.9%
4	高等学校相当	33.3%	15.4%	50.0%	0.0%	33.3%	30.8%	30.2%
合計		100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%

○世帯年収別

SA / n=43 ※通学制度で「寄宿舎制」を回答した方を対象

No	インターに入学させた課程	1,500万 円以上 2,000万 円未満	2,000万 円以上 3,000万 円未満	3,000万 円以上 4,000万 円未満	4,000万 円以上 5,000万 円未満	5,000万 円以上	全体
1	幼稚園相当	0.0%	11.1%	0.0%	10.0%	0.0%	4.7%
2	小学校相当	40.0%	44.4%	25.0%	30.0%	50.0%	37.2%
3	中学校相当	20.0%	11.1%	50.0%	30.0%	33.3%	27.9%
4	高等学校相当	40.0%	33.3%	25.0%	30.0%	16.7%	30.2%
合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

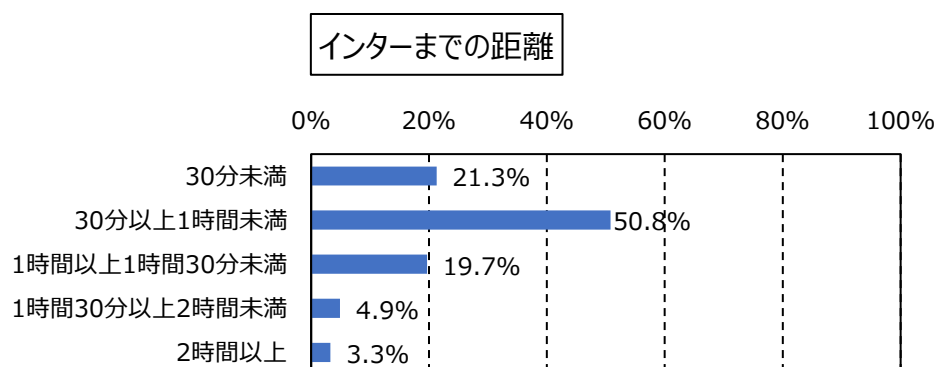
前問（１）現在通っているインターの通学制度 にて、「通学制」と回答した者のみを対象

（３）インターまでの距離（公共交通機関の利用を想定）〔SA / n=122〕

設問：インターまでの距離は、アクセス時間にしてどれくらいですか（公共交通機関の利用を想定）。

【全体】

○「1 時間未満」の割合が 7 割を占めている。「30 分以上 1 時間未満」(50.8%)が最も多く、続いて「30 分未満」(21.3%)となっている。



【国・地域別】

○シンガポールと中国では「30 分未満」の割合が低く、「1 時間以上 1 時間 30 分未満」の割合が高い。

【勤務先別】

○金融業・保険業(57.1%)、学術研究、専門・技術サービス業(66.7%)、製造業(51.6%)ではそれぞれ「30 分以上 1 時間未満」の割合が高い。

○情報通信業では「30 分未満」(40.0%)の割合が高い。

○フリーランスでは「1 時間 30 分以上 2 時間未満」(66.7%)の割合が高い。

【世帯年収別】

○1,500 万円以上 2,000 万円未満の世帯では「30 分以上 1 時間未満」(70.6%)の割合が高い。

○国・地域別

SA / n=122 ※通学制度で「通学制」を回答した方を対象

No	インターまでの距離 (公共交通機関の利用を想定)	イギリス	香港	インド	シンガポール	中国	全体
1	30分未満	35.7%	25.0%	21.1%	13.3%	12.5%	21.3%
2	30分以上1時間未満	42.9%	60.0%	52.6%	46.7%	52.5%	50.8%
3	1時間以上1時間30分未満	14.3%	5.0%	15.8%	33.3%	27.5%	19.7%
4	1時間30分以上2時間未満	0.0%	0.0%	10.5%	6.7%	7.5%	4.9%
5	2時間以上	7.1%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.3%
合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

○勤務先別

SA / n=122 ※通学制度で「通学制」を回答した方を対象

No	インターまでの距離 (公共交通機関の利用を想定)	金融業・ 保険業	学術研究、 専門・技術 サービス業	製造業	情報通 信業	フリー ランス	その他	全体
1	30分未満	9.5%	8.3%	22.6%	40.0%	16.7%	34.3%	21.3%
2	30分以上1時間未満	57.1%	66.7%	51.6%	20.0%	16.7%	45.7%	50.8%
3	1時間以上1時間30分未満	28.6%	25.0%	22.6%	20.0%	0.0%	11.4%	19.7%
4	1時間30分以上2時間未満	4.8%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	2.9%	4.9%
5	2時間以上	0.0%	0.0%	3.2%	20.0%	0.0%	5.7%	3.3%
合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

○世帯年収別

SA / n=122 ※通学制度で「通学制」を回答した方を対象

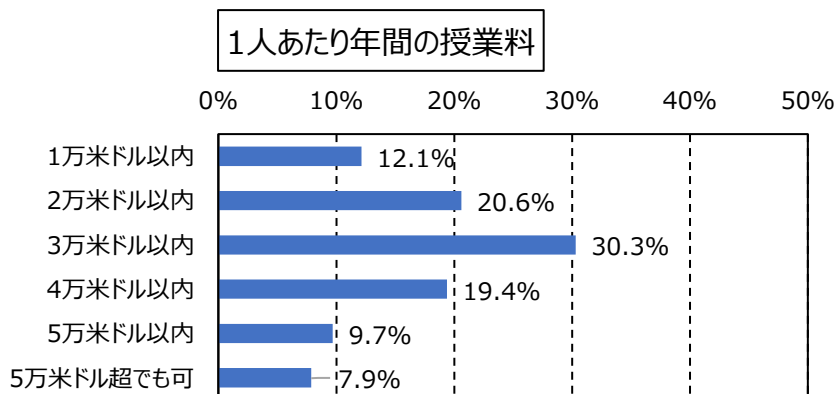
No	インターまでの距離 (公共交通機関の利用を想定)	1,500万 円以上 2,000万 円未満	2,000万 円以上 3,000万 円未満	3,000万 円以上 4,000万 円未満	4,000万 円以上 5,000万 円未満	5,000万 円以上	全体
1	30分未満	11.8%	32.3%	13.8%	19.4%	33.3%	21.3%
2	30分以上1時間未満	70.6%	45.2%	58.6%	47.2%	22.2%	50.8%
3	1時間以上1時間30分未満	11.8%	12.9%	20.7%	25.0%	33.3%	19.7%
4	1時間30分以上2時間未満	5.9%	3.2%	6.9%	5.6%	0.0%	4.9%
5	2時間以上	0.0%	6.5%	0.0%	2.8%	11.1%	3.3%
合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

(4) 1人あたり年間の授業料〔SA / n=165〕

設問：インターを選択するにあたり、授業料（寄宿舍代等は含まない）は1人あたり年間どのくらいを想定していましたか。

【全体】

○「3万米ドル以内」(30.3%)が最も多く、続いて「2万米ドル以内」(20.6%)となっている。



【国・地域別】

○インドでは「1万米ドル以内」(31.0%)の割合が高い。

○シンガポールでは「3万米ドル以内」(47.4%)の割合が高い。

【勤務先別】

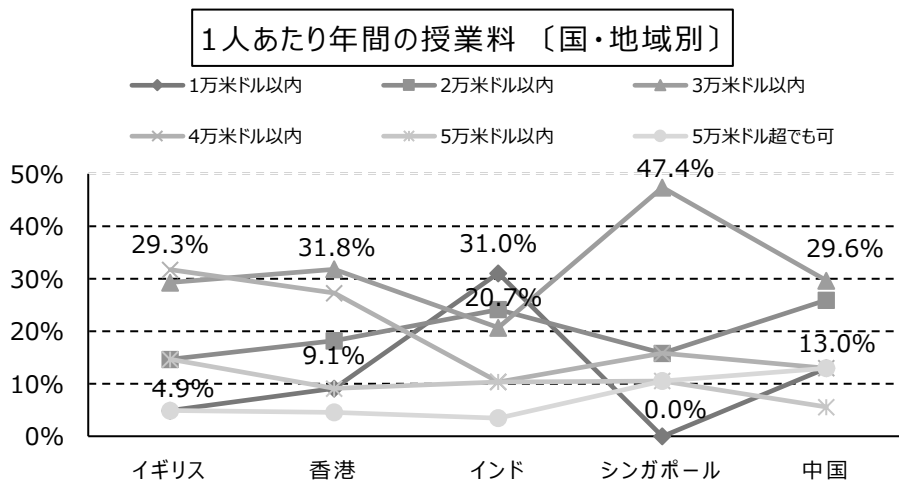
○情報通信業では「3万米ドル以内」(80.0%)の割合が高い。

○フリーランスでは「5万米ドル超でも可」(22.2%)の割合が高い。

【世帯年収別】

○1,500万円以上 2,000万円未満の世帯では「2万米ドル以内」以下が6割以上を占めている。

○5000万円以上の世帯では「5万米ドル以内」以上が5割以上を占めている。



○国・地域別

SA / n=165

No	1人あたり年間の授業料	イギリス	香港	インド	シンガポール	中国	全体
1	1万米ドル以内	4.9%	9.1%	31.0%	0.0%	13.0%	12.1%
2	2万米ドル以内	14.6%	18.2%	24.1%	15.8%	25.9%	20.6%
3	3万米ドル以内	29.3%	31.8%	20.7%	47.4%	29.6%	30.3%
4	4万米ドル以内	31.7%	27.3%	10.3%	15.8%	13.0%	19.4%
5	5万米ドル以内	14.6%	9.1%	10.3%	10.5%	5.6%	9.7%
6	5万米ドル超でも可	4.9%	4.5%	3.4%	10.5%	13.0%	7.9%
合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

○勤務先別

SA / n=165

No	1人あたり年間の授業料	金融業・ 保険業	学術研究、 専門・技術 サービス業	製造業	情報通 信業	フリーラ ンス	その他	全体
1	1万米ドル以内	7.4%	8.1%	12.8%	0.0%	11.1%	18.8%	12.1%
2	2万米ドル以内	37.0%	16.2%	12.8%	0.0%	11.1%	25.0%	20.6%
3	3万米ドル以内	18.5%	32.4%	33.3%	80.0%	33.3%	27.1%	30.3%
4	4万米ドル以内	14.8%	29.7%	20.5%	20.0%	22.2%	12.5%	19.4%
5	5万米ドル以内	22.2%	10.8%	7.7%	0.0%	0.0%	6.3%	9.7%
6	5万米ドル超でも可	0.0%	2.7%	12.8%	0.0%	22.2%	10.4%	7.9%
合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

○世帯年収別

SA / n=165

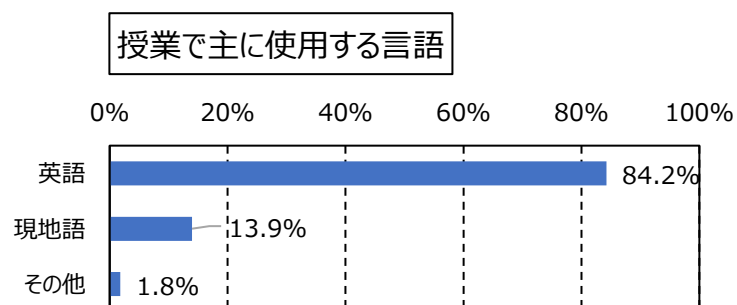
No	1人あたり年間の授業料	1,500万 円以上 2,000万 円未満	2,000万 円以上 3,000万 円未満	3,000万 円以上 4,000万 円未満	4,000万 円以上 5,000万 円未満	5,000万 円以上	全体
1	1万米ドル以内	29.6%	12.5%	2.7%	8.7%	13.3%	12.1%
2	2万米ドル以内	33.3%	25.0%	27.0%	8.7%	6.7%	20.6%
3	3万米ドル以内	18.5%	32.5%	37.8%	34.8%	13.3%	30.3%
4	4万米ドル円以内	11.1%	15.0%	24.3%	26.1%	13.3%	19.4%
5	5万米ドル以内	3.7%	7.5%	2.7%	13.0%	33.3%	9.7%
6	5万米ドル超でも可	3.7%	7.5%	5.4%	8.7%	20.0%	7.9%
合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

(5) 授業で主に使用する言語〔SA / n=165〕

設問：授業で主に使用する言語はどれですか。

【全体】

○「英語」(84.2%)が大半を占め、「現地語」(13.9%)は少ない。



【国・地域別】

○イギリスとインドではほぼ全てが「英語」と回答している。

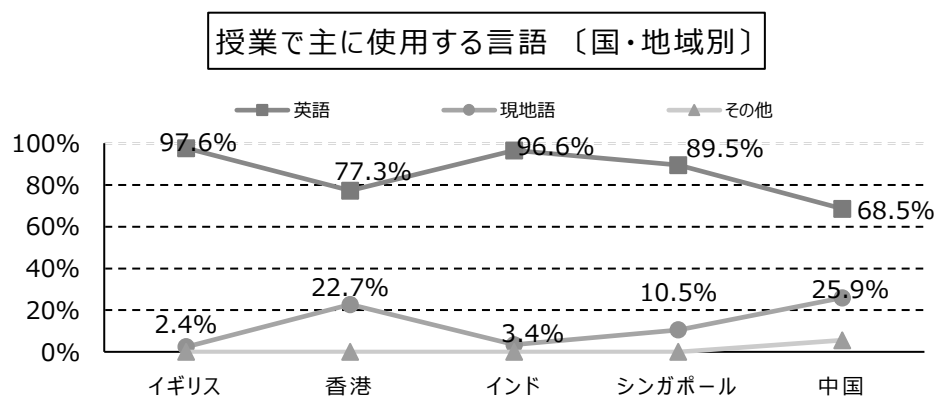
○中国と香港では「現地語」の割合が高い。

【勤務先別】

○フリーランスでは「現地語」(22.2%)の割合が高い。

【世帯年収別】

○特徴的な傾向は見られない。



○国・地域別

SA / n=165

No	授業で主に使用する言語	イギリス	香港	インド	シンガポール	中国	全体
1	英語	97.6%	77.3%	96.6%	89.5%	68.5%	84.2%
2	現地語	2.4%	22.7%	3.4%	10.5%	25.9%	13.9%
3	その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.6%	1.8%
合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

○勤務先別

SA / n=165

No	授業で主に使用する言語	金融業・ 保険業	学術研究、 専門・技術 サービス業	製造業	情報通 信業	フリー ランス	その他	全体
1	英語	81.5%	81.1%	89.7%	80.0%	77.8%	85.4%	84.2%
2	現地語	18.5%	18.9%	7.7%	20.0%	22.2%	10.4%	13.9%
3	その他	0.0%	0.0%	2.6%	0.0%	0.0%	4.2%	1.8%
合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

○世帯年収別

SA / n=165

No	授業で主に使用する言語	1,500万 円以上 2,000万 円未満	2,000万 円以上 3,000万 円未満	3,000万 円以上 4,000万 円未満	4,000万 円以上 5,000万 円未満	5,000万 円以上	全体
1	英語	85.2%	85.0%	81.1%	87.0%	80.0%	84.2%
2	現地語	11.1%	12.5%	18.9%	13.0%	13.3%	13.9%
3	その他	3.7%	2.5%	0.0%	0.0%	6.7%	1.8%
合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

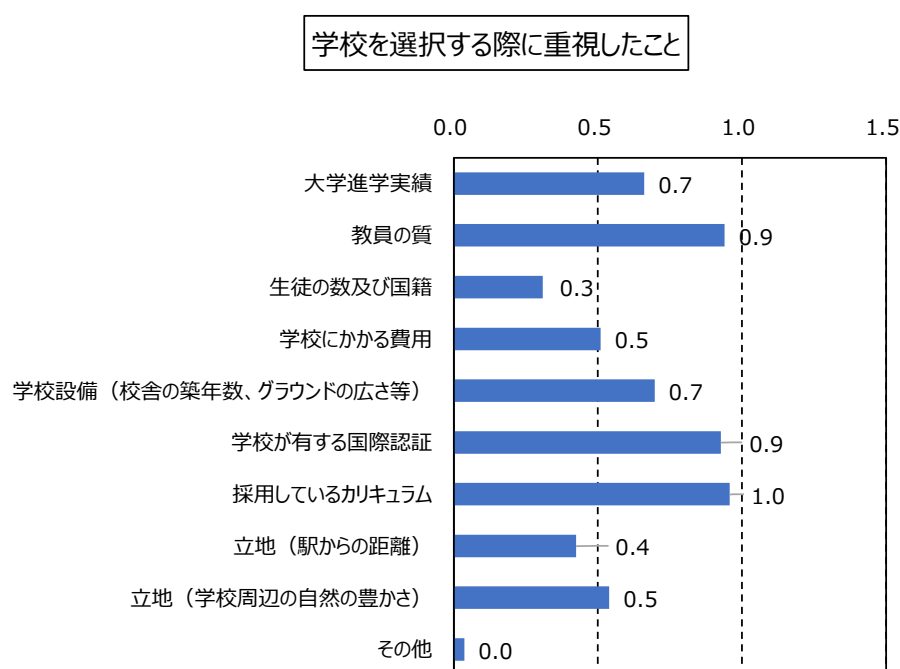
(6) 学校を選択する際に重視したこと〔MA / n=165〕

設問：学校を選択するにあたり、重視したこと（上位 3 個）を選択してください。

注：本設問では各選択肢における「1 位」「2 位」「3 位」の回答に対して加重配点を実施し、選択肢ごとの得点を回答者数で除算する（加重平均方式）。配点ルールは次の通り：「1 位」の選択肢には 3 点、「2 位」の選択肢には 2 点、「3 位」の選択肢には 1 点を配点する。

【全体】

○「採用しているカリキュラム」（1.0 点）が最も高く、続いて「教員の質」と「学校が有する国際認証」（0.9 点）となっている。



【国・地域別】

○香港では「教員の質」（1.4 点）が高くなっている。

○シンガポールでは「学校が有する国際認証」（1.2 点）が高くなっている。

【勤務先別】

○学術研究、専門・技術サービス業では「教員の質」（1.2 点）が高くなっている。

○フリーランスでは「学校が有する国際認証」（1.8 点）が高くなっている。

【世帯年収別】

○1,500 万円以上 2,000 万円未満世帯では「大学進学実績」と「教員の質」（1.1 点）が高くなっている。

○5,000 万円以上の世帯では「教員の質」と「学校が有する国際認証」（1.1 点）が高くなっている。

○国・地域別

MA / n=65

No	学校を選択する際に重視すること	合計得点					
		イギリス	香港	インド	シンガポール	中国	全体
1	大学進学実績	1.0	1.3	0.6	1.1	0.2	0.9
2	教員の質	1.4	0.9	1.1	0.8	1.0	1.0
3	生徒の数及び国籍	0.4	0.0	0.6	0.5	0.2	0.4
4	学校にかかる費用	0.3	1.5	1.2	0.8	0.0	0.8
5	学校設備（校舎の築年数、グラウンドの広さ等）	0.5	0.1	0.6	0.8	0.6	0.5
6	学校が有する国際認証	0.8	0.7	0.7	0.6	2.0	0.8
7	採用しているカリキュラム	0.6	0.6	0.7	0.5	0.6	0.6
8	立地（駅からの距離）	0.7	0.6	0.2	0.3	0.4	0.5
9	立地（学校周辺の自然の豊かさ）	0.3	0.3	0.5	0.6	1.0	0.5
10	その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

○勤務先別

MA / n=65

No	学校を選択する際に重視すること	合計得点						
		金融業・ 保険業	学術研究、 専門・技術 サービス業	製造業	情報通 信業	フリーラ ンス	その他	全体
1	大学進学実績	0.9	0.8	0.5	1.0	0.0	1.1	0.9
2	教員の質	1.3	1.3	0.8	1.3	0.0	0.9	1.0
3	生徒の数及び国籍	0.3	0.7	0.6	0.0	0.0	0.3	0.4
4	学校にかかる費用	0.3	0.2	0.9	1.0	0.0	1.1	0.8
5	学校設備（校舎の築年数、グラウンドの広さ等）	0.8	0.8	0.6	0.0	0.0	0.4	0.5
6	学校が有する国際認証	1.0	1.3	0.9	0.7	0.0	0.6	0.8
7	採用しているカリキュラム	0.4	0.5	1.0	0.3	0.0	0.6	0.6
8	立地（駅からの距離）	0.7	0.0	0.2	0.0	0.0	0.6	0.5
9	立地（学校周辺の自然の豊かさ）	0.4	0.3	0.5	1.7	0.0	0.5	0.5
10	その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

○世帯年収別

MA / n=65

No	学校を選択する際に重視すること	合計得点					全体
		1,500万 円以上 2,000万 円未満	2,000万 円以上 3,000万 円未満	3,000万 円以上 4,000万 円未満	4,000万 円以上 5,000万 円未満	5,000万 円以上	
1	大学進学実績	1.1	0.9	1.2	0.4	0.6	0.9
2	教員の質	1.1	1.1	0.9	0.5	1.7	1.0
3	生徒の数及び国籍	0.6	0.1	0.4	0.6	0.1	0.4
4	学校にかかる費用	0.7	0.9	0.4	1.4	0.9	0.8
5	学校設備（校舎の築年数、グラウンドの広さ等）	0.4	0.5	0.6	1.3	0.1	0.5
6	学校が有する国際認証	0.5	1.0	0.9	0.3	1.2	0.8
7	採用しているカリキュラム	0.5	0.4	0.8	0.3	0.8	0.6
8	立地（駅からの距離）	0.4	0.6	0.4	0.9	0.1	0.5
9	立地（学校周辺の自然の豊かさ）	0.6	0.4	0.4	0.5	0.6	0.5
10	その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

本項（１）～（６）は、前問１．（７）子どもの通学先にて、「子どもは全員現地の学校に通わせている」かつ、同（８）インターへの転向の意向にて、「検討している」と回答した者のみを対象

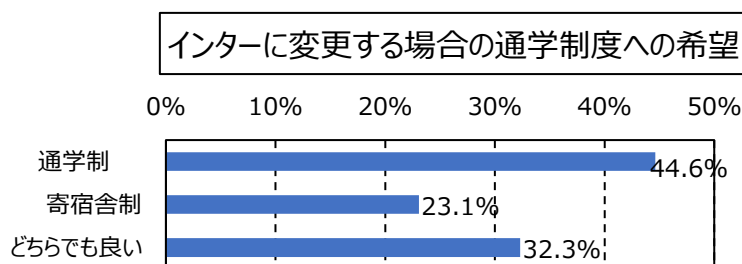
２－２．今後、インターに通わせる場合のニーズ

（１）インターに変更する場合の通学制度への希望〔SA / n=65〕

設問：お子様の通学先をインターに変更する場合、通学制と寄宿舎制のどちらを希望しますか。

【全体】

○「通学制」(44.6%)が最も多く、続いて「どちらでも良い」(32.3%)となっている。



※母数が少なく、クロス集計による有意性は見出し難いため、分析は省略し結果のみ掲載。

○国・地域別

SA / n=65

No	インターに変更する場合の通学制度への希望	イギリス	香港	インド	シンガポール	中国	全体
1	通学制	68.4%	50.0%	33.3%	36.8%	0.0%	44.6%
2	寄宿舎制	15.8%	0.0%	16.7%	36.8%	60.0%	23.1%
3	どちらでも良い	15.8%	50.0%	50.0%	26.3%	40.0%	32.3%
合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

○勤務先別

SA / n=65

No	インターに変更する場合の通学制度への希望	金融業・保険業	学术研究、専門・技術サービス業	製造業	情報通信業	フリーランス	その他	全体
1	通学制	50.0%	33.3%	36.4%	33.3%	0.0%	48.3%	44.6%
2	寄宿舎制	31.3%	0.0%	27.3%	33.3%	0.0%	20.7%	23.1%
3	どちらでも良い	18.8%	66.7%	36.4%	33.3%	0.0%	31.0%	32.3%
合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	100.0%	100.0%

○世帯年収別

SA / n=65

No	インターに変更する場合の通学制度への希望	1,500万円以上 2,000万円未満	2,000万円以上 3,000万円未満	3,000万円以上 4,000万円未満	4,000万円以上 5,000万円未満	5,000万円以上	全体
1	通学制	42.9%	53.3%	52.6%	12.5%	44.4%	44.6%
2	寄宿舎制	14.3%	20.0%	31.6%	37.5%	11.1%	23.1%
3	どちらでも良い	42.9%	26.7%	15.8%	50.0%	44.4%	32.3%
合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

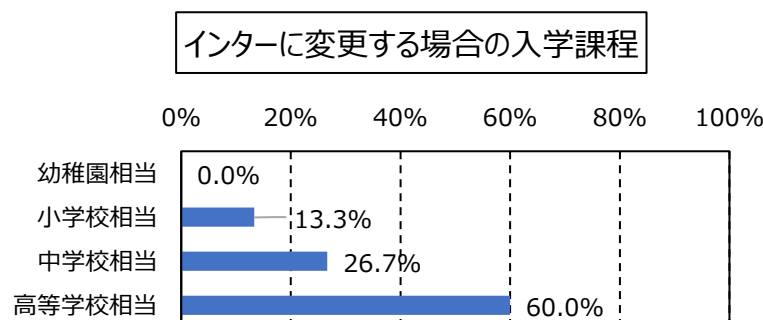
前問（１）インターに変更する場合の通学制度への希望 にて、「寄宿舎制」と回答した者のみを対象

（２）インターに変更する場合の入学課程〔SA / n=15〕

設問：お子様はどの課程から入学させる予定ですか。

【全体】

○「高等学校相当」(60.0%)が最も多く、続いて「中学校相当」(26.7%)となっている。



※母数が少なく、クロス集計による有意性は見出し難いため、分析は省略し結果のみ掲載。

○国・地域別 SA / n=15 ※通学制度で「寄宿舎制」を回答した方を対象

No	インターに変更する場合の入学課程	イギリス	香港	インド	シンガポール	中国	全体
1	幼稚園相当	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
2	小学校相当	0.0%	0.0%	0.0%	28.6%	0.0%	13.3%
3	中学校相当	100.0%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	26.7%
4	高等学校相当	0.0%	0.0%	100.0%	57.1%	100.0%	60.0%
合計		100.0%	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

○勤務先別 SA / n=15 ※通学制度で「寄宿舎制」を回答した方を対象

No	インターに変更する場合の入学課程	金融業・ 保険業	学術研究、 専門・技術 サービス業	製造業	情報通 信業	フリーラ ンス	その他	全体
1	幼稚園相当	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
2	小学校相当	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	16.7%	13.3%
3	中学校相当	60.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	26.7%
4	高等学校相当	40.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	66.7%	60.0%
合計		100.0%	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%	100.0%	100.0%

○世帯年収別 SA / n=15 ※通学制度で「寄宿舎制」を回答した方を対象

No	インターに変更する場合の入学課程	1,500万 円以上 2,000万 円未満	2,000万 円以上 3,000万 円未満	3,000万 円以上 4,000万 円未満	4,000万 円以上 5,000万 円未満	5,000万 円以上	全体
1	幼稚園相当	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
2	小学校相当	0.0%	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	13.3%
3	中学校相当	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%	26.7%
4	高等学校相当	100.0%	66.7%	33.3%	66.7%	100.0%	60.0%
合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

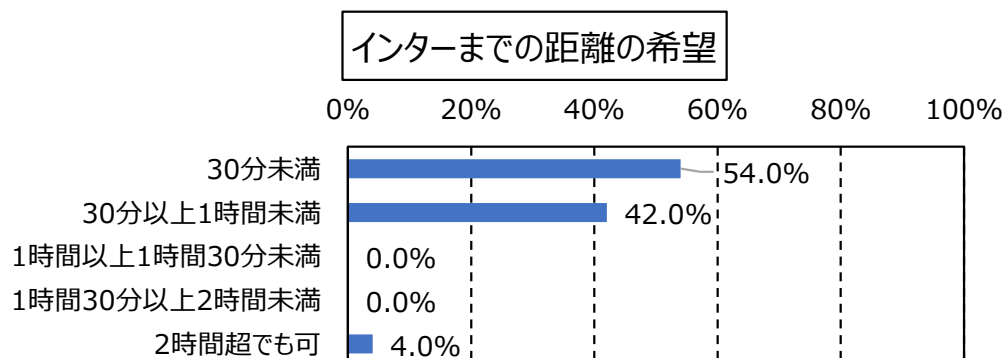
前問（１）インターに変更する場合の通学制度への希望 にて、「通学制」「どちらでも良い」と回答した者のみを対象

（３）インターまでの距離の希望〔SA / n=50〕

設問：インターまでの距離は、アクセス時間にしてどれくらいを想定していますか（公共交通機関の利用を想定）。

【全体】

○「30 分未満」(54.0%)が最も多く、続いて「30 分以上 1 時間未満」(42.0%)となっている。



※母数が少なく、クロス集計による有意性は見出し難いため、分析は省略し結果のみ掲載。

○国・地域別 SA / n=50 ※「通学制」又は「どちらでも良い」を回答した方を対象

No	インターまでの距離 (公共交通機関の利用を想定)	イギリス	香港	インド	シンガポール	中国	全体
1	30分未満	50.0%	40.0%	80.0%	58.3%	0.0%	54.0%
2	30分以上1時間未満	43.8%	60.0%	20.0%	33.3%	100.0%	42.0%
3	1時間以上1時間30分未満	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
4	1時間30分以上2時間未満	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
5	2時間超でも可	6.3%	0.0%	0.0%	8.3%	0.0%	4.0%
合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

○勤務先別 SA / n=50 ※「通学制」又は「どちらでも良い」を回答した方を対象

No	インターまでの距離 (公共交通機関の利用を想定)	金融業・ 保険業	学術研究、 専門・技術 サービス業	製造業	情報通 信業	フリーラ ンス	その他	全体
1	30分未満	36.4%	66.7%	50.0%	50.0%	0.0%	60.9%	54.0%
2	30分以上1時間未満	63.6%	33.3%	50.0%	0.0%	0.0%	34.8%	42.0%
3	1時間以上1時間30分未満	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
4	1時間30分以上2時間未満	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
5	2時間超でも可	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	4.3%	4.0%
合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	100.0%	100.0%

○世帯年収別 SA / n=50 ※通学制度で「通学制」又は「どちらでも良い」を回答した方を対象

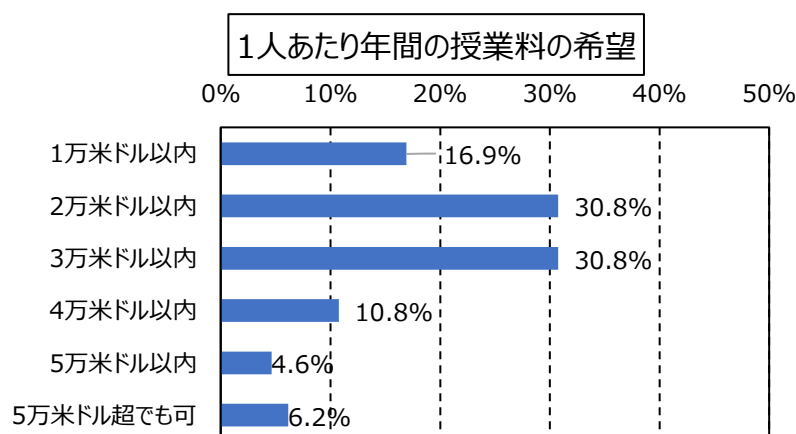
No	インターまでの距離 (公共交通機関の利用を想定)	1,500万 円以上 2,000万 円未満	2,000万 円以上 3,000万 円未満	3,000万 円以上 4,000万 円未満	4,000万 円以上 5,000万 円未満	5,000万 円以上	全体
1	30分未満	75.0%	33.3%	61.5%	40.0%	50.0%	54.0%
2	30分以上1時間未満	16.7%	66.7%	38.5%	40.0%	50.0%	42.0%
3	1時間以上1時間30分未満	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
4	1時間30分以上2時間未満	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
5	2時間超でも可	8.3%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	4.0%
合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

(4) 1人あたり年間の授業料の希望〔SA / n=65〕

設問：1人あたりの授業料（寄宿舎代等は含まない）は、年間でどのくらいを想定していますか。

【全体】

○「2万米ドル以内」(30.8%)及び「3万米ドル以内」(30.8%)が最も多く、続いて「1万米ドル以内」(16.9%)となっている。



※母数が少なく、クロス集計による有意性は見出し難いため、分析は省略し結果のみ掲載。

○国・地域別

SA / n=65

No	1人あたり年間の授業料	イギリス	香港	インド	シンガポール	中国	全体
1	1万米ドル以内	10.5%	0.0%	41.7%	21.1%	0.0%	16.9%
2	2万米ドル以内	31.6%	50.0%	25.0%	21.1%	40.0%	30.8%
3	3万米ドル以内	26.3%	50.0%	8.3%	42.1%	20.0%	30.8%
4	4万米ドル以内	21.1%	0.0%	8.3%	10.5%	0.0%	10.8%
5	5万米ドル以内	0.0%	0.0%	16.7%	5.3%	0.0%	4.6%
6	5万米ドル超でも可	10.5%	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%	6.2%
合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

○勤務先別

SA / n=65

No	1人あたり年間の授業料	金融業・保険業	学術研究、専門・技術サービス業	製造業	情報通信業	フリーランス	その他	全体
1	1万米ドル以内	6.3%	33.3%	9.1%	0.0%	0.0%	24.1%	16.9%
2	2万米ドル以内	25.0%	33.3%	36.4%	0.0%	0.0%	34.5%	30.8%
3	3万米ドル以内	37.5%	33.3%	18.2%	66.7%	0.0%	27.6%	30.8%
4	4万米ドル以内	25.0%	0.0%	27.3%	0.0%	0.0%	0.0%	10.8%
5	5万米ドル以内	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	6.9%	4.6%
6	5万米ドル超でも可	6.3%	0.0%	9.1%	0.0%	0.0%	6.9%	6.2%
合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	100.0%	100.0%

○世帯年収別

SA / n=65

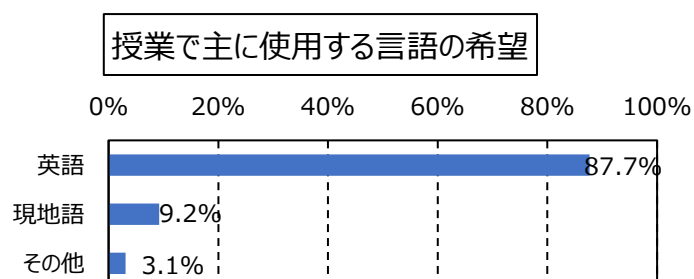
No	1人あたり年間の授業料	1,500万円以上 2,000万円未満	2,000万円以上 3,000万円未満	3,000万円以上 4,000万円未満	4,000万円以上 5,000万円未満	5,000万円以上	全体
1	1万米ドル以内	28.6%	13.3%	5.3%	12.5%	33.3%	16.9%
2	2万米ドル以内	35.7%	26.7%	42.1%	25.0%	11.1%	30.8%
3	3万米ドル以内	7.1%	53.3%	31.6%	25.0%	33.3%	30.8%
4	4万米ドル以内	0.0%	6.7%	21.1%	25.0%	0.0%	10.8%
5	5万米ドル以内	14.3%	0.0%	0.0%	12.5%	0.0%	4.6%
6	5万米ドル超でも可	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	22.2%	6.2%
合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

(5) 授業で主に使用する言語の希望〔SA / n=65〕

設問：授業で主に使用する言語はどれを望みますか。

【全体】

○「英語」(87.7%)が大半を占め、「現地語」(9.2%)は少なくなっている。



※母数が少なく、クロス集計による有意性は見出し難いため、分析は省略し結果のみ掲載。

○国・地域別

SA / n=65

No	授業で主に使用する言語の希望	イギリス	香港	インド	シンガポール	中国	全体
1	英語	94.7%	70.0%	100.0%	89.5%	60.0%	87.7%
2	現地語	0.0%	30.0%	0.0%	5.3%	40.0%	9.2%
3	その他	5.3%	0.0%	0.0%	5.3%	0.0%	3.1%
合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

○勤務先別

SA / n=65

No	授業で主に使用する言語の希望	金融業・保険業	学術研究、専門・技術サービス業	製造業	情報通信業	フリーランス	その他	全体
1	英語	87.5%	100.0%	90.9%	33.3%	0.0%	89.7%	87.7%
2	現地語	6.3%	0.0%	9.1%	33.3%	0.0%	10.3%	9.2%
3	その他	6.3%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	3.1%
合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	100.0%	100.0%

○世帯年収別

SA / n=65

No	授業で主に使用する言語の希望	1,500万円以上 2,000万円未満	2,000万円以上 3,000万円未満	3,000万円以上 4,000万円未満	4,000万円以上 5,000万円未満	5,000万円以上	全体
1	英語	100.0%	93.3%	89.5%	50.0%	88.9%	87.7%
2	現地語	0.0%	6.7%	5.3%	37.5%	11.1%	9.2%
3	その他	0.0%	0.0%	5.3%	12.5%	0.0%	3.1%
合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

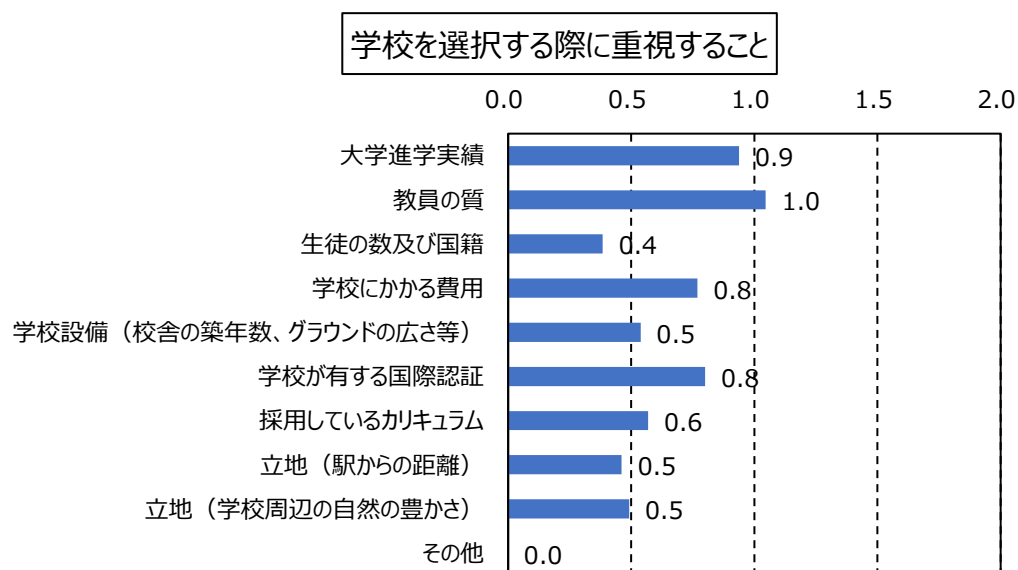
(6) 学校を選択する際に重視すること〔MA / n=65〕

設問：学校を選択するにあたり、重視すること（上位3個）を選択してください。

注：本設問では各選択肢における「1位」「2位」「3位」の回答に対して加重配点を実施し、選択肢ごとの得点を回答者数で除算する（加重平均方式）。配点ルールは次の通り：「1位」の選択肢には3点、「2位」の選択肢には2点、「3位」の選択肢には1点を配点する。

【全体】

○「教員の質」（1.0点）が最も高く、続いて「大学進学実績」（0.9点）となっている。



※母数が少なく、クロス集計による有意性は見出し難いため、分析は省略し結果のみ掲載。

○国・地域別

MA / n=65

No	学校を選択する際に重視すること	合計得点					
		イギリス	香港	インド	シンガポール	中国	全体
1	大学進学実績	1.0	1.3	0.6	1.1	0.2	0.9
2	教員の質	1.4	0.9	1.1	0.8	1.0	1.0
3	生徒の数及び国籍	0.4	0.0	0.6	0.5	0.2	0.4
4	学校にかかる費用	0.3	1.5	1.2	0.8	0.0	0.8
5	学校設備（校舎の築年数、グラウンドの広さ等）	0.5	0.1	0.6	0.8	0.6	0.5
6	学校が有する国際認証	0.8	0.7	0.7	0.6	2.0	0.8
7	採用しているカリキュラム	0.6	0.6	0.7	0.5	0.6	0.6
8	立地（駅からの距離）	0.7	0.6	0.2	0.3	0.4	0.5
9	立地（学校周辺の自然の豊かさ）	0.3	0.3	0.5	0.6	1.0	0.5
10	その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

○勤務先別

MA / n=65

No	学校を選択する際に重視すること	合計得点						
		金融業・ 保険業	学術研究、 専門・技術 サービス業	製造業	情報通 信業	フリーラ ンス	その他	全体
1	大学進学実績	0.9	0.8	0.5	1.0	0.0	1.1	0.9
2	教員の質	1.3	1.3	0.8	1.3	0.0	0.9	1.0
3	生徒の数及び国籍	0.3	0.7	0.6	0.0	0.0	0.3	0.4
4	学校にかかる費用	0.3	0.2	0.9	1.0	0.0	1.1	0.8
5	学校設備（校舎の築年数、グラウンドの広さ等）	0.8	0.8	0.6	0.0	0.0	0.4	0.5
6	学校が有する国際認証	1.0	1.3	0.9	0.7	0.0	0.6	0.8
7	採用しているカリキュラム	0.4	0.5	1.0	0.3	0.0	0.6	0.6
8	立地（駅からの距離）	0.7	0.0	0.2	0.0	0.0	0.6	0.5
9	立地（学校周辺の自然の豊かさ）	0.4	0.3	0.5	1.7	0.0	0.5	0.5
10	その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

○世帯年収別

MA / n=65

No	学校を選択する際に重視すること	合計得点					
		1,500万 円以上 2,000万 円未満	2,000万 円以上 3,000万 円未満	3,000万 円以上 4,000万 円未満	4,000万 円以上 5,000万 円未満	5,000万 円以上	全体
1	大学進学実績	1.1	0.9	1.2	0.4	0.6	0.9
2	教員の質	1.1	1.1	0.9	0.5	1.7	1.0
3	生徒の数及び国籍	0.6	0.1	0.4	0.6	0.1	0.4
4	学校にかかる費用	0.7	0.9	0.4	1.4	0.9	0.8
5	学校設備（校舎の築年数、グラウンドの広さ等）	0.4	0.5	0.6	1.3	0.1	0.5
6	学校が有する国際認証	0.5	1.0	0.9	0.3	1.2	0.8
7	採用しているカリキュラム	0.5	0.4	0.8	0.3	0.8	0.6
8	立地（駅からの距離）	0.4	0.6	0.4	0.9	0.1	0.5
9	立地（学校周辺の自然の豊かさ）	0.6	0.4	0.4	0.5	0.6	0.5
10	その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

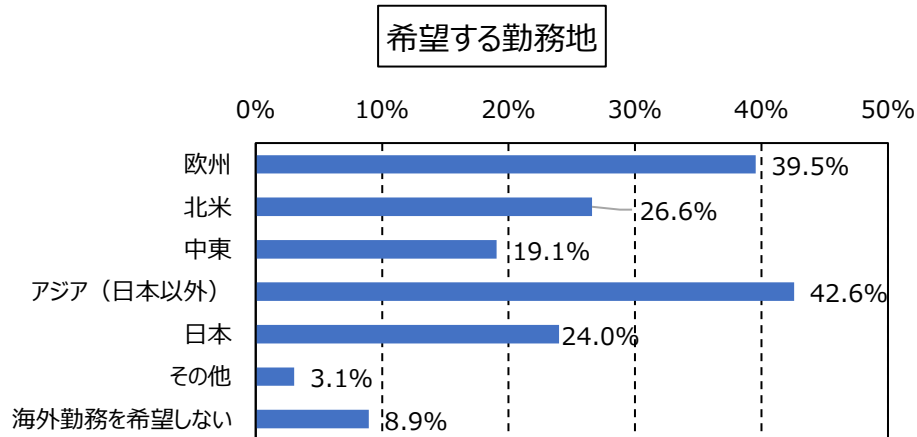
3. 海外勤務の要望

(1) 希望する勤務地〔MA / n=425〕

設問：あなたが希望する勤務地をお知らせください。

【全体】

○「アジア（日本以外）」(42.6%)が最も多く、続いて「欧州」(39.5%)となっている。



【国・地域別】

○イギリスでは「欧州」(80.7%)が大半を占めている。

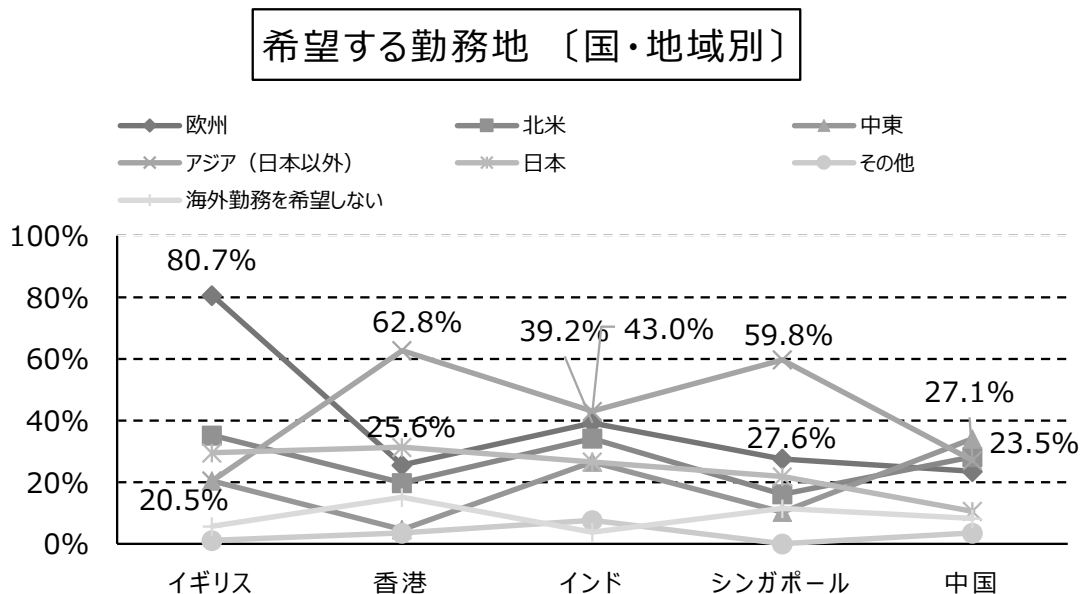
○一方、香港やシンガポールでは「アジア（日本以外）」がそれぞれ6割を占めている。

【勤務先別】

○金融業・保険業では「欧州」(46.2%)の割合が高い。

【世帯年収別】

○3,000万円未満 4,000万円以上の世帯では「アジア（日本以外）」(50.5%)の割合が高い。



○国・地域別

MA / n=425

No	希望する勤務地	イギリス	香港	インド	シンガポール	中国	全体
1	欧州	80.7%	25.6%	39.2%	27.6%	23.5%	39.5%
2	北米	35.2%	19.8%	34.2%	16.1%	28.2%	26.6%
3	中東	20.5%	4.7%	26.6%	10.3%	34.1%	19.1%
4	アジア（日本以外）	20.5%	62.8%	43.0%	59.8%	27.1%	42.6%
5	日本	29.5%	31.4%	26.6%	21.8%	10.6%	24.0%
6	その他	1.1%	3.5%	7.6%	0.0%	3.5%	3.1%
7	海外勤務を希望しない	5.7%	15.1%	3.8%	11.5%	8.2%	8.9%
合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

○勤務先別

MA / n=425

No	希望する勤務地	金融業・ 保険業	学術研究、 専門・技術 サービス業	製造業	情報通 信業	フリー ランス	その他	全体
1	欧州	46.2%	39.1%	32.4%	40.0%	21.1%	41.4%	39.5%
2	北米	30.8%	34.8%	16.2%	30.0%	21.1%	25.7%	26.6%
3	中東	23.1%	24.6%	27.0%	10.0%	21.1%	11.2%	19.1%
4	アジア（日本以外）	42.9%	44.9%	52.7%	15.0%	63.2%	37.5%	42.6%
5	日本	24.2%	24.6%	20.3%	15.0%	10.5%	28.3%	24.0%
6	その他	3.3%	1.4%	4.1%	0.0%	10.5%	2.6%	3.1%
7	海外勤務を希望しない	4.4%	2.9%	2.7%	15.0%	10.5%	16.4%	8.9%
合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

○世帯年収別

MA / n=425

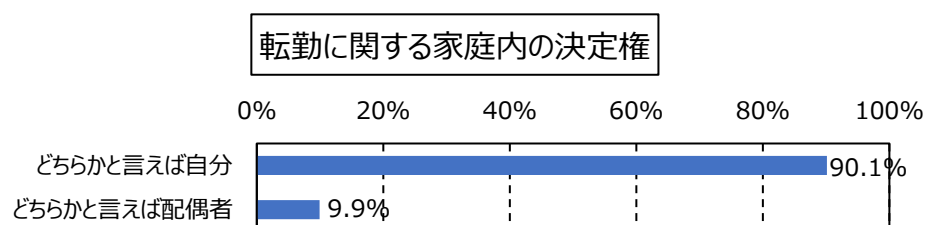
No	希望する勤務地	1,500万 円以上 2,000万 円未満	2,000万 円以上 3,000万 円未満	3,000万 円以上 4,000万 円未満	4,000万 円以上 5,000万 円未満	5,000万 円以上	全体
1	欧州	34.0%	37.0%	40.0%	42.5%	52.4%	39.5%
2	北米	22.0%	25.0%	29.5%	33.8%	21.4%	26.6%
3	中東	16.0%	12.0%	24.2%	27.5%	16.7%	19.1%
4	アジア（日本以外）	38.0%	42.6%	50.5%	45.0%	31.0%	42.6%
5	日本	20.0%	20.4%	29.5%	30.0%	19.0%	24.0%
6	その他	5.0%	1.9%	2.1%	5.0%	0.0%	3.1%
7	海外勤務を希望しない	9.0%	10.2%	7.4%	7.5%	11.9%	8.9%
合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

(2) 転勤に関する家庭内の決定権〔SA / n=425〕

設問：転勤について、家庭内における決定権はどなたにありますか。

【全体】

○「どちらかと言えば自分」(90.1%)が大半を占め、「どちらかと言えば配偶者」(9.9%)が少なくなっている。



【国・地域別】

○特徴的な傾向は見られない。

【勤務先別】

○フリーランスでは、「どちらかと言えば配偶者」(21.1%)の割合が高い。

【世帯年収別】

○世帯年収が高いほど、「どちらかと言えば配偶者」の割合が高くなる傾向がある。

○国・地域別

SA / n=425

No	転勤に関する家庭内の決定権	イギリス	香港	インド	シンガポール	中国	全体
1	どちらかと言えば自分	93.2%	93.0%	87.3%	87.4%	89.4%	90.1%
2	どちらかと言えば配偶者	6.8%	7.0%	12.7%	12.6%	10.6%	9.9%
合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

○勤務先別

SA / n=425

No	転勤に関する家庭内の決定権	金融業・ 保険業	学术研究、 専門・技術 サービス業	製造業	情報通 信業	フリーラ ンス	その他	全体
1	どちらかと言えば自分	89.0%	88.4%	93.2%	95.0%	78.9%	90.8%	90.1%
2	どちらかと言えば配偶者	11.0%	11.6%	6.8%	5.0%	21.1%	9.2%	9.9%
合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

○世帯年収別

SA / n=425

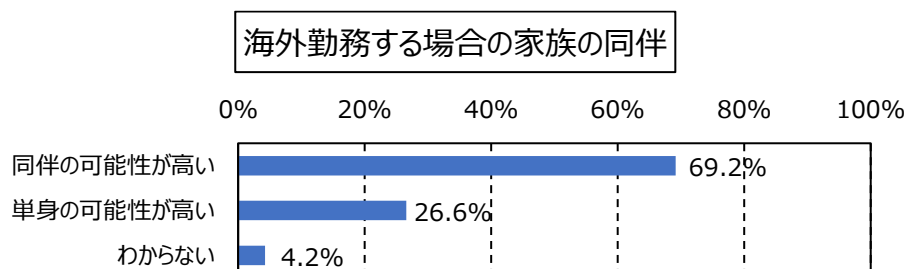
No	転勤に関する家庭内の決定権	1,500万 円以上 2,000万 円未満	2,000万 円以上 3,000万 円未満	3,000万 円以上 4,000万 円未満	4,000万 円以上 5,000万 円未満	5,000万 円以上	全体
1	どちらかと言えば自分	93.0%	93.5%	86.3%	88.8%	85.7%	90.1%
2	どちらかと言えば配偶者	7.0%	6.5%	13.7%	11.3%	14.3%	9.9%
合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

(3) 海外勤務する場合の家族の同伴〔SA / n=425〕

設問：あなたが海外勤務するとしたら、家族同伴ですか、単身ですか。

【全体】

○「同伴する可能性が高い」(69.2%)が多く、「単身の可能性が高い」(26.6%)が少なくなっている。



【国・地域別】

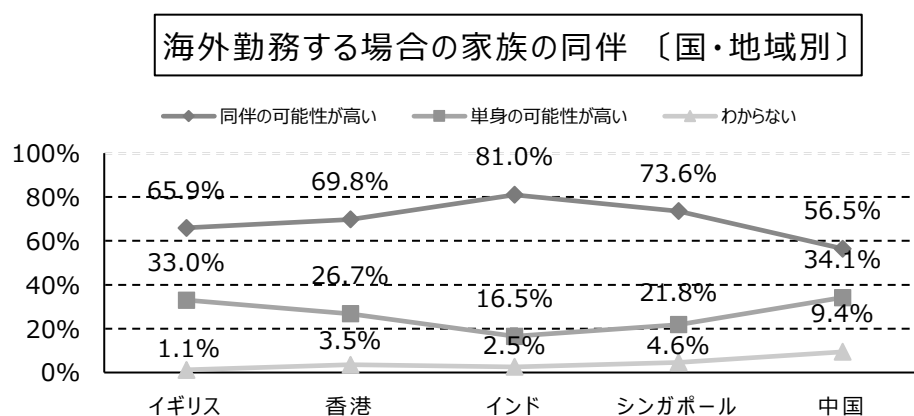
○インドでは「同伴の可能性が高い」(81.0%)の割合が高い。

【勤務先別】

○学術研究、専門・技術サービス業では「同伴の可能性が高い」(81.2%)の割合が高い。

【世帯年収別】

○特徴的な傾向は見られない。



○国・地域別

SA / n=425

No	海外勤務する場合の家族の同伴	イギリス	香港	インド	シンガポール	中国	全体
1	同伴の可能性が高い	65.9%	69.8%	81.0%	73.6%	56.5%	69.2%
2	単身の可能性が高い	33.0%	26.7%	16.5%	21.8%	34.1%	26.6%
3	わからない	1.1%	3.5%	2.5%	4.6%	9.4%	4.2%
合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

○勤務先別

SA / n=425

No	海外勤務する場合の家族の同伴	金融業・ 保険業	学術研究、 専門・技術 サービス業	製造業	情報通 信業	フリー ランス	その他	全体
1	同伴の可能性が高い	70.3%	81.2%	70.3%	70.0%	73.7%	61.8%	69.2%
2	単身の可能性が高い	25.3%	18.8%	29.7%	20.0%	21.1%	30.9%	26.6%
3	わからない	4.4%	0.0%	0.0%	10.0%	5.3%	7.2%	4.2%
合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

○世帯年収別

SA / n=425

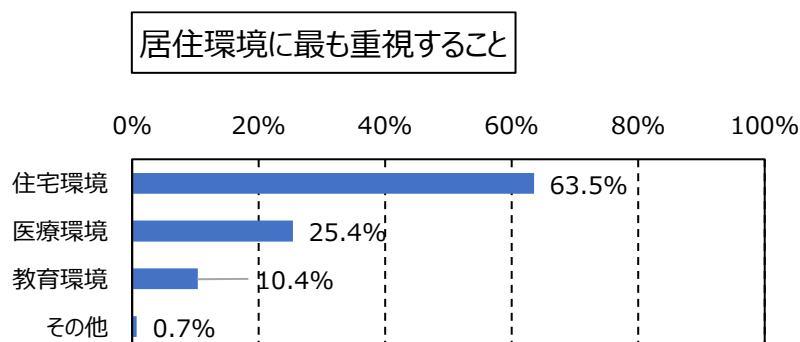
No	海外勤務する場合の家族の同伴	1,500万 円以上 2,000万 円未満	2,000万 円以上 3,000万 円未満	3,000万 円以上 4,000万 円未満	4,000万 円以上 5,000万 円未満	5,000万 円以上	全体
1	同伴の可能性が高い	68.0%	65.7%	73.7%	76.3%	57.1%	69.2%
2	単身の可能性が高い	29.0%	27.8%	24.2%	20.0%	35.7%	26.6%
3	わからない	3.0%	6.5%	2.1%	3.8%	7.1%	4.2%
合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

(4) 居住環境に最も重視すること〔SA / n=425〕

設問：あなたが海外勤務先の居住環境について最も重視することは何ですか。

【全体】

○「住宅環境」(63.5%)が最も多く、続いて「医療環境」(25.4%)となっている。



【国・地域別】

○イギリスでは「教育環境」(17.0%)の割合が高い。

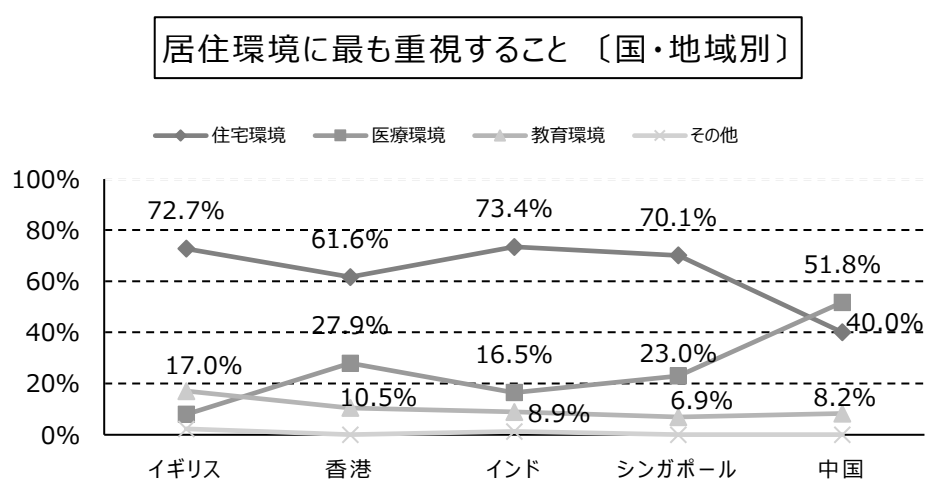
○中国では「医療環境」(51.8%)の割合が高く、「住宅環境」(40.0%)の割合が低くなっている。

【勤務先別】

○学術研究、専門・技術サービス業では、「医療環境」(42.0%)の割合が高く、「住宅環境」(47.8%)の割合が低くなっている。

【世帯年収別】

○世帯年収が高いほど、「教育環境」の割合が高くなる傾向がある。



○国・地域別

SA / n=425

No	居住環境に最も重視すること	イギリス	香港	インド	シンガポール	中国	全体
1	住宅環境	72.7%	61.6%	73.4%	70.1%	40.0%	63.5%
2	医療環境	8.0%	27.9%	16.5%	23.0%	51.8%	25.4%
3	教育環境	17.0%	10.5%	8.9%	6.9%	8.2%	10.4%
4	その他	2.3%	0.0%	1.3%	0.0%	0.0%	0.7%
合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

○勤務先別

SA / n=425

No	居住環境に最も重視すること	金融業・ 保険業	学術研究、 専門・技術 サービス業	製造業	情報通 信業	フリーラ ンス	その他	全体
1	住宅環境	60.4%	47.8%	66.2%	65.0%	63.2%	71.1%	63.5%
2	医療環境	27.5%	42.0%	20.3%	30.0%	26.3%	18.4%	25.4%
3	教育環境	11.0%	10.1%	12.2%	5.0%	10.5%	9.9%	10.4%
4	その他	1.1%	0.0%	1.4%	0.0%	0.0%	0.7%	0.7%
合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

○世帯年収別

SA / n=425

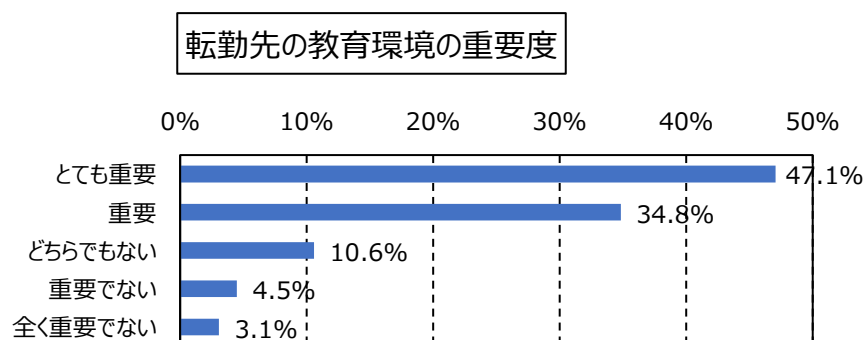
No	居住環境に最も重視すること	1,500万 円以上 2,000万 円未満	2,000万 円以上 3,000万 円未満	3,000万 円以上 4,000万 円未満	4,000万 円以上 5,000万 円未満	5,000万 円以上	全体
1	住宅環境	67.0%	70.4%	58.9%	58.8%	57.1%	63.5%
2	医療環境	27.0%	17.6%	32.6%	28.8%	19.0%	25.4%
3	教育環境	6.0%	11.1%	8.4%	11.3%	21.4%	10.4%
4	その他	0.0%	0.9%	0.0%	1.3%	2.4%	0.7%
合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

(5) 転勤先の教育環境の重要度〔SA / n=425〕

設問：あなたにとって転勤先の教育環境はどれくらい重要ですか。

【全体】

○「とても重要」(47.1%)「重要」(34.8%)を合わせて、8割を占めている。



【国・地域別】

○イギリスでは「とても重要」(61.4%)の割合が高い。

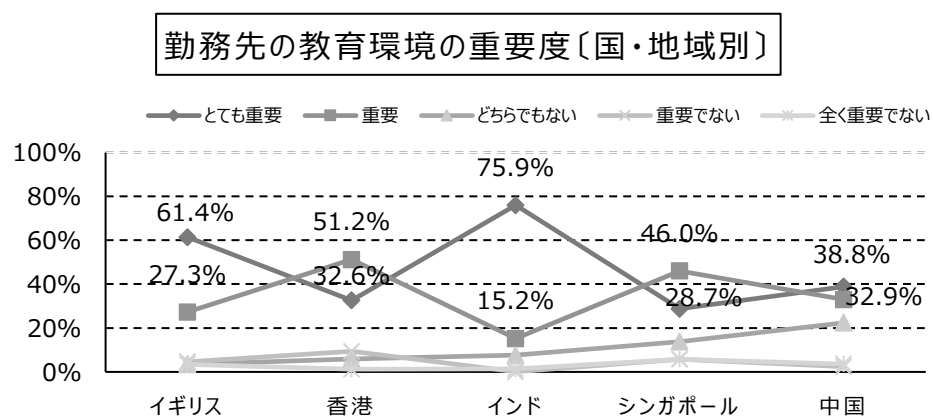
○中国では「どちらでもない」(22.4%)の割合が高い。

【勤務先別】

○フリーランスでは「どちらでもない」(21.1%)と「重要でない」(10.5%)の割合が高い。

【世帯年収別】

○世帯年収が高いほど、「教育環境」の割合が高くなる傾向がある。



○国・地域別

SA / n=425

No	転勤先の教育環境の重要度	イギリス	香港	インド	シンガポール	中国	全体
1	とても重要	61.4%	32.6%	75.9%	28.7%	38.8%	47.1%
2	重要	27.3%	51.2%	15.2%	46.0%	32.9%	34.8%
3	どちらでもない	3.4%	5.8%	7.6%	13.8%	22.4%	10.6%
4	重要でない	4.5%	9.3%	0.0%	5.7%	2.4%	4.5%
5	全く重要でない	3.4%	1.2%	1.3%	5.7%	3.5%	3.1%
合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

○勤務先別

SA / n=425

No	転勤先の教育環境の重要度	金融業・ 保険業	学術研究、 専門・技術 サービス業	製造業	情報通 信業	フリー ランス	その他	全体
1	とても重要	54.9%	52.2%	39.2%	50.0%	42.1%	44.1%	47.1%
2	重要	34.1%	26.1%	44.6%	40.0%	26.3%	34.9%	34.8%
3	どちらでもない	4.4%	17.4%	14.9%	10.0%	21.1%	7.9%	10.6%
4	重要でない	4.4%	0.0%	1.4%	0.0%	10.5%	7.9%	4.5%
5	全く重要でない	2.2%	4.3%	0.0%	0.0%	0.0%	5.3%	3.1%
合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

○世帯年収別

SA / n=425

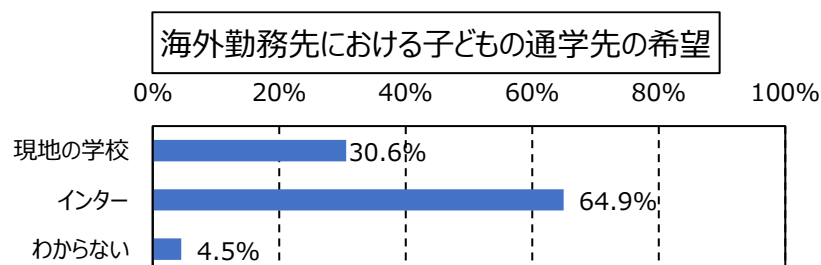
No	転勤先の教育環境の重要度	1,500万 円以上 2,000万 円未満	2,000万 円以上 3,000万 円未満	3,000万 円以上 4,000万 円未満	4,000万 円以上 5,000万 円未満	5,000万 円以上	全体
1	とても重要	46.0%	43.5%	43.2%	48.8%	64.3%	47.1%
2	重要	38.0%	37.0%	42.1%	28.8%	16.7%	34.8%
3	どちらでもない	7.0%	10.2%	9.5%	16.3%	11.9%	10.6%
4	重要でない	7.0%	5.6%	4.2%	2.5%	0.0%	4.5%
5	全く重要でない	2.0%	3.7%	1.1%	3.8%	7.1%	3.1%
合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

(6) 海外勤務先における子どもの通学先の希望〔SA / n=425〕

設問：海外勤務先でお子様を学校に通わせると仮定した場合、現地の学校とインターのどちらを希望しますか。

【全体】

○「インター」(64.9%)が多く、「現地の学校」(30.6%)が少なくなっている。



【国・地域別】

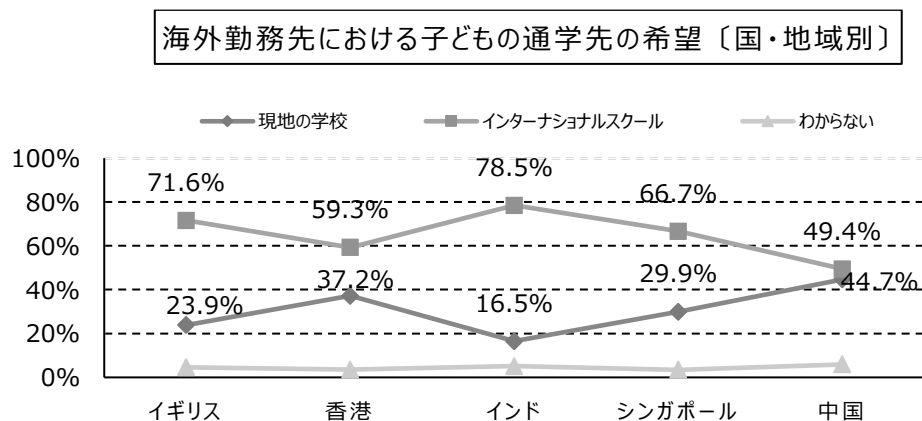
○インドでは「インター」(78.5%)の割合が高い。

【勤務先別】

○情報通信業では「インター」(95.0%)の割合が高い。

【世帯年収別】

○特徴的な傾向は見られない。



○国・地域別

SA / n=425

No	海外勤務先における 子どもの通学先の希望	イギリス	香港	インド	シンガポール	中国	全体
1	現地の学校	23.9%	37.2%	16.5%	29.9%	44.7%	30.6%
2	インターナショナルスクール	71.6%	59.3%	78.5%	66.7%	49.4%	64.9%
3	わからない	4.5%	3.5%	5.1%	3.4%	5.9%	4.5%
合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

○勤務先別

SA / n=425

No	海外勤務先における 子どもの通学先の希望	金融業・ 保険業	学術研究、 専門・技術 サービス業	製造業	情報通 信業	フリー ランス	その他	全体
1	現地の学校	37.4%	33.3%	35.1%	0.0%	36.8%	26.3%	30.6%
2	インターナショナルスクール	59.3%	63.8%	63.5%	95.0%	63.2%	65.8%	64.9%
3	わからない	3.3%	2.9%	1.4%	5.0%	0.0%	7.9%	4.5%
合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

○世帯年収別

SA / n=425

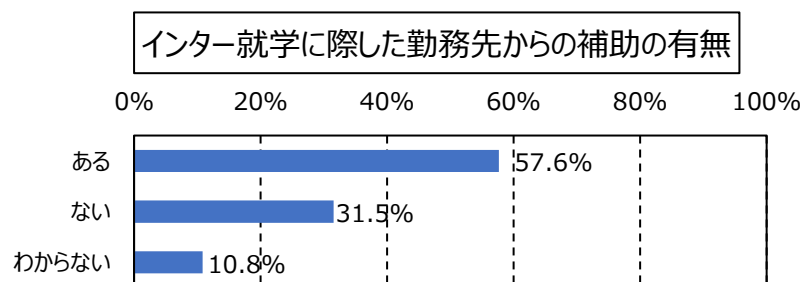
No	海外勤務先における 子どもの通学先の希望	1,500万 円以上 2,000万 円未満	2,000万 円以上 3,000万 円未満	3,000万 円以上 4,000万 円未満	4,000万 円以上 5,000万 円未満	5,000万 円以上	全体
1	現地の学校	32.0%	32.4%	28.4%	31.3%	26.2%	30.6%
2	インターナショナルスクール	62.0%	60.2%	71.6%	68.8%	61.9%	64.9%
3	わからない	6.0%	7.4%	0.0%	0.0%	11.9%	4.5%
合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

(7) インター就学に際した勤務先からの補助の有無〔SA / n=425〕

設問：あなたの勤務先では、インター就学の際の補助等がありますか。

【全体】

○「ある」(57.6%)が多く、「ない」(31.5%)が少なくなっている。



【国・地域別】

○中国では「ある」(87.1%)の割合が高い。

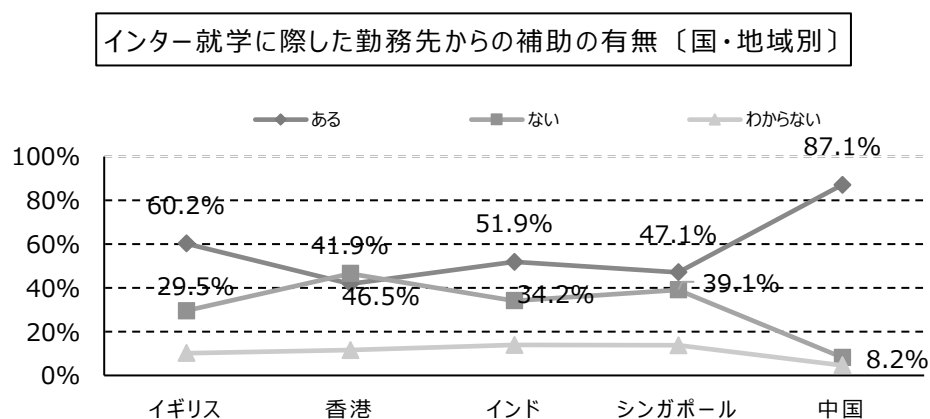
【勤務先別】

○学術研究、専門・技術サービス業では「ある」(72.5%)の割合が高い。

○その他では「ある」(43.4%)の割合が低い。

【世帯年収別】

○3,000 万円以上 4,000 万円未満の世帯では「ある」(68.4%)の割合が高い。



○国・地域別

SA / n=425

No	インター就学に際した勤務先からの補助の有無	イギリス	香港	インド	シンガポール	中国	全体
1	ある	60.2%	41.9%	51.9%	47.1%	87.1%	57.6%
2	ない	29.5%	46.5%	34.2%	39.1%	8.2%	31.5%
3	わからない	10.2%	11.6%	13.9%	13.8%	4.7%	10.8%
合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

○勤務先別

SA / n=425

No	インター就学に際した勤務先からの補助の有無	金融業・保険業	学術研究、専門・技術サービス業	製造業	情報通信業	フリーランス	その他	全体
1	ある	65.9%	72.5%	59.5%	65.0%	63.2%	43.4%	57.6%
2	ない	20.9%	20.3%	28.4%	35.0%	26.3%	44.7%	31.5%
3	わからない	13.2%	7.2%	12.2%	0.0%	10.5%	11.8%	10.8%
合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

○世帯年収別

SA / n=425

No	インター就学に際した勤務先からの補助の有無	1,500万円以上 2,000万円未満	2,000万円以上 3,000万円未満	3,000万円以上 4,000万円未満	4,000万円以上 5,000万円未満	5,000万円以上	全体
1	ある	49.0%	52.8%	68.4%	65.0%	52.4%	57.6%
2	ない	40.0%	32.4%	24.2%	30.0%	28.6%	31.5%
3	わからない	11.0%	14.8%	7.4%	5.0%	19.0%	10.8%
合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

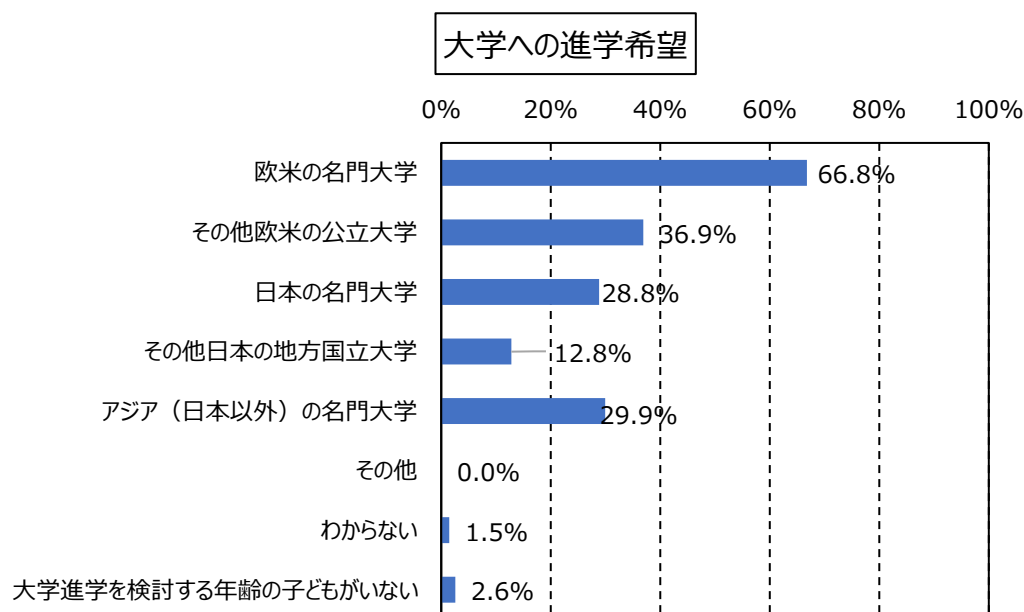
前項 1. (6) 家族構成 にて、「子どもあり」と回答した者のみを対象

4. 大学への進学 [MA / n=274]

設問：あなたのお子様に、どのような大学への進学を希望しますか。

【全体】

○「欧米の名門大学（ハーバード大学、イエール大学、プリンストン大学、ブラウン大学、ペンシルベニア大学、コロンビア大学、ダートマス大学、コーネル大学、オックスフォード大学、ケンブリッジ大学、UCL[University College London]）」(66.8%)が最も多く、続いて「その他欧米の公立大学（米国州立大学、英国ラッセルグループ等）」(36.9%)となっている。



【国・地域別】

○イギリスでは「欧米の名門大学」(77.9%) の割合が高い。

○インドでは「欧米の名門大学」(72.3%)、「その他欧米の公立大学」(48.9%)の順で、その次に「日本の名門大学」(46.8%)となっている。

【勤務先別】

○学術研究、専門・技術サービス業では「日本の名門大学」(37.8%)の割合が高い。

【世帯年収別】

○年収 4,000 万円以上 5,000 万円未満の世帯では「日本の名門大学」(40.0%)や「その他日本の地方国立大学」(18.3%)の割合が高い。

○国・地域別

MA / n=274

No	大学への進学希望	イギリス	香港	インド	シンガポール	中国	全体
1	欧米の名門大学	77.9%	65.9%	72.3%	75.0%	44.4%	66.8%
2	その他欧米の公立大学	32.4%	45.5%	48.9%	25.0%	36.5%	36.9%
3	日本の名門大学	23.5%	13.6%	46.8%	28.8%	31.7%	28.8%
4	その他日本の地方国立大学	7.4%	11.4%	8.5%	5.8%	28.6%	12.8%
5	アジア（日本以外）の名門大学	16.2%	36.4%	31.9%	38.5%	31.7%	29.9%
6	その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
7	わからない	1.5%	0.0%	2.1%	1.9%	1.6%	1.5%
8	大学進学を検討する年齢の子どもがいない	4.4%	2.3%	0.0%	0.0%	4.8%	2.6%
合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

○勤務先別

MA / n=274

No	大学への進学希望	金融業・ 保険業	学術研究、 専門・技術 サービス業	製造業	情報通 信業	フリー ランス	その他	全体
1	欧米の名門大学	66.7%	68.9%	67.8%	72.7%	53.8%	66.3%	66.8%
2	その他欧米の公立大学	35.3%	44.4%	32.2%	18.2%	38.5%	38.9%	36.9%
3	日本の名門大学	29.4%	37.8%	25.4%	27.3%	23.1%	27.4%	28.8%
4	その他日本の地方国立大学	9.8%	6.7%	16.9%	0.0%	30.8%	13.7%	12.8%
5	アジア（日本以外）の名門大学	25.5%	35.6%	35.6%	18.2%	23.1%	28.4%	29.9%
6	その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
7	わからない	2.0%	2.2%	0.0%	9.1%	0.0%	1.1%	1.5%
8	大学進学を検討する年齢の子どもがいない	2.0%	0.0%	3.4%	0.0%	7.7%	3.2%	2.6%
合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

○世帯年収別

MA / n=274

No	大学への進学希望	1,500万 円以上 2,000万 円未満	2,000万 円以上 3,000万 円未満	3,000万 円以上 4,000万 円未満	4,000万 円以上 5,000万 円未満	5,000万 円以上	全体
1	欧米の名門大学	63.5%	73.5%	67.2%	61.7%	66.7%	66.8%
2	その他欧米の公立大学	44.2%	30.9%	29.7%	36.7%	53.3%	36.9%
3	日本の名門大学	36.5%	17.6%	25.0%	40.0%	26.7%	28.8%
4	その他日本の地方国立大学	9.6%	11.8%	14.1%	18.3%	6.7%	12.8%
5	アジア（日本以外）の名門大学	32.7%	26.5%	32.8%	30.0%	26.7%	29.9%
6	その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
7	わからない	0.0%	2.9%	1.6%	1.7%	0.0%	1.5%
8	大学進学を検討する年齢の子どもがいない	1.9%	2.9%	3.1%	0.0%	6.7%	2.6%
合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

5. その他の自由記述

設問：大阪をはじめ、日本のインターに対するあなたの期待や改善点、新たに設立するスクールに必要と思われる要素、海外勤務を考える際に周辺のインター事情にどれくらい影響を受けるか、そしてその他の意見や提案について、どんなことでも自由に記述してください。

No	大分類	中分類	件数	小分類（代表的な意見）
1	肯定的なコメント		75	・大阪の国際学校への期待度は、毎年着実に進化している充実した学習環境のおかげで、非常に高まっている。 ・良い ・素晴らしい
2	ニュートラルなコメント		97	・コメントなし ・特になし
3	インターに通う意向、需要がない		5	・現地の学校がいい。 ・私は日本での仕事よりもヨーロッパで働くことを好む。 ・私は大阪や日本の他の都市で働いている間、学校に通う（※おそらく通わせる、ということ）つもりはない。仕事を向上させるためには、現地の言語を学ぶことが重要だと考えている。 ・子供がいないので要望がない。 ・需要なし。
4	言語に関する意見	英語教育の重視	19	・国際語としての英語を教える。 ・授業や日常のコミュニケーションでは主に英語を使う。 ・主要言語は英語であるべき。
		英語以外の外国語教育の導入	10	・日本語を第二言語として教える学校であれば、私の子供たちは英語だけでなく日本語も学び、日本の大学進学を選択肢を持つことができる。 ・中国語などの第二外国語を教える。 ・日本のインターナショナルスクールが、すべてのインターナショナルスクールに共通する部分とは別に、日本語と独自の文化を教えることを望む。 ・生徒の母国語で授業が行われ、日本語を学ぶための集中コースが用意されていることが重要だと思う。
5	教員の質に関する意見	教員の専門性と経験	20	・私の考えでは、学校はプロフェッショナルであるべきだし、教師たちは一貫性を持つべき。なぜなら、彼らの言葉や行動が子供たちに影響を与えるからである。 ・良質な教育と優れた教師陣が必要である。 ・質の高い教師陣を備えた世界クラスの学校。 ・忍耐強く、気質の良いプロフェッショナルな教師が増えてほしい。 ・経験豊富な教師の雇用
		教員の国際性と多様性	3	・グローバルな視野を持つ国際的な講師陣 ・教師が世界中から集まり、活動が全て包括的であることを期待する。 ・大阪のインターナショナルスクールにOECD諸国のトップ大学を卒業した教師を採用してほしい。海外勤務を検討する際、質の高いインターナショナルスクールがあるかどうかはとても気になる。自分の子供が受ける教育にはとても関心がある。
		教員に対する研修・トレーニング	2	・高い教育水準を維持するためには、教員やスタッフの専門能力開発に投資することが重要である。インターナショナルスクールは、教育者が教育や教育実践の最新動向を常に把握できるよう、継続的な研修、ワークショップ、カンファレンスの機会を提供すべきである。 ・教師は教養を身につけ、行儀良くあるべき。

No	大分類	中分類	件数	小分類（代表的な意見）
6	教育水準に関する意見	カリキュラムの質	22	・すべては学校がどのような知識とスキルを教えるかにかかっている。 ・全方位的な教育を提供できるインターナショナルスクールを望んでいる。 ・教育の質とオープンカリキュラムがすべてである。 ・カリキュラムは、母国と同等のものが求められ、同じ基準で評価されるべきである。 ・イギリスと同等の教育水準を有するカリキュラムを期待している。
		指導内容への要望	13	・環境教育を充実させ、自然と触れ合うチャンスを増やし、地球温暖化といった大切な問題に取り組むべき。 ・子供たちにもっと礼儀や行動マナーについて学ばせよう。 ・謙虚さ規律正しさは、私が尊敬する日本人の特徴であり、アジアの価値観、家族、文化は、これらの学校が持つべきものである。 ・真の古代史を教えること。 ・より良い金融教育
		指導方法のあり方への要望	6	・教師が多く生徒が少ない、授業中自由、オープンマインド、教室の外でも学べる。 ・留学生のニーズに対応する。教える時はゆっくりと進行させる。 ・単にディクテーションや宿題の書き写しではなく、多様な学習方法を取り入れること。 ・個別の学習指導。 ・（授業では）アクティビティに取り組む。 ・理論だけでなく、実践的な要素も取り入れた、生徒の能力を最大限に引き出すような基礎的なレッスンを期待している。
		国際水準な教育	16	・世界の他のインターナショナルスクールと同等の水準であること。 ・ヨーロッパと北米の大学に認定されていること。 ・IBプログラムがある。 ・他国に移っても子供が困らないよう、基準を統一すべきである。 ・生徒たちが全世界につながる力を身につけられるよう、グローバルな教育を提供すること。世界中で認められる単位互換制度を導入し、生徒は自由にインターナショナルスクール間を移動でき、さらに、生徒が母国に戻った場合でも、同じカリキュラムの教育を受け続けられること。
		多文化教育の実践	12	・私は、インターナショナルスクールが真に国際化されており、娘が異なる文化を持つクラスメートと交流し、視野を広げる機会があることを期待している。 ・さまざまな国の文化に触れさせることができる。 ・インターナショナルスクールはいろんなタイプの人っていて、多様性に富んでいて、子どもたちもそこから多くのことを学べるので、とてもいいと思っている。 ・様々な国籍の学生が混在していることを望んでいる。

No	大分類	中分類	件数	小分類（代表的な意見）
7	環境に関する意見	学校の設備	13	・良い学習施設 ・近代的な施設 ・最先端のインフラ ・良いトイレ、設備の整った研究室などの教育設備。 ・広い敷地と新しい施設がある。
		良好な学習環境	16	・学校の環境は自国の学校とある程度似ている必要がある。 ・より良質な学校環境と、生徒が利用し遊べるスペースが多いこと。 ・清潔で良い学習環境
		安心・安全な環境	16	・学校の環境は生徒にとって安全でなければならない。そして、全ての生徒が学校の環境で安心感を感じられるようにすべきである。 ・放射性汚染物質を避けるため、大気質、食品、水源などの安全性を確保。 ・安全で安心できる地域であること。
		多言語対応の環境	10	・多言語環境が整っているのが望ましい ・英語話者の外国人に対応可能とするべき ・国際語に対応できること
		その他の校内や学校周辺の環境に関する意見	4	・期待するのは、生活環境がとても快適で、景色もとても美しいこと。海外で働くなら、周りのインターナショナルスクールがとても活気があること。 ・環境も緑豊かであるべきである。 ・広々とした環境の新しい校舎
		地域住民と交流できる環境	4	・地元の環境に馴染み、現地の人々と交流できること。 ・地域との強い関わり。 ・コミュニティーへの参加。 ・コミュニケーションのしやすさ、現地の人との距離感や居心地の良さ。
8	立地に関する意見	交通の便が良い立地	3	・交通手段はもっと便利になる必要がある。 ・便利な立地。 ・交通の便が良い。
		家との距離	3	・学校と家の位置が遠くない。 ・通学に時間がかからないように、家の近くにあるべきである。 ・まあ、近いというのは考慮する要素だね。
9	進学やキャリア支援に関する意見		3	・卒業後に良い就職の機会がある。 ・国内外の大学への進路を示す。 ・高い試験合格率。
10	学校の運営	授業料等、費用に関する意見	7	・学費が手頃であることを願っている。 ・コース費用 ・コストパフォーマンスの良さ。 ・価格が安い
		情報発信の充実化に関する意見	3	・留学生の入学に関するオンライン情報をもっと充実させると良い。 ・認知度を上げるために、より多くの情報とリソースを収集する必要がある。 ・より詳しい紹介が必要
11	その他の支援に関する意見		7	・託児サービスも求める。 ・学校外でのサポート、例えば宿泊施設などについて知りたい。

IV. 調査票

1. 日本語版

Q1.

あなたの年齢をお知らせください。

(ひとつだけ) 【必須】

- ☐ 20歳代
- ☐ 30歳代
- ☐ 40歳代
- ☐ 50歳代
- ☐ 60歳代
- ☐ 上記以外

Q2.

あなたの性別をお知らせください。

(ひとつだけ) 【必須】

- ☐ 男
- ☐ 女
- ☐ 答えたくない

Q3.

あなたが務めている勤務先に最も近いものをお知らせください。

(ひとつだけ) 【必須】

- ☐ 金融業・保険業
- ☐ 学術研究、専門・技術サービス業
- ☐ 製造業
- ☐ 情報通信業
- ☐ フリーランス
- ☐ その他

Q4.

あなたの個人年収をお知らせください。

(ひとつだけ) **【必須】**

- ☐ 1,500万円未満
- ☐ 1,500万円以上2,000万円未満
- ☐ 2,000万円以上2,500万円未満
- ☒ 2,500万円以上3,000万円未満
- ☐ 3,000万円以上3,500万円未満
- ☐ 3,500万円以上4,000万円未満
- ☐ 4,000万円以上

Q5.

あなたの世帯年収をお知らせください。

(ひとつだけ) **【必須】**

- ☐ 1,500万円未満
- ☐ 1,500万円以上2,000万円未満
- ☐ 2,000万円以上3,000万円未満
- ☐ 3,000万円以上4,000万円未満
- ☐ 4,000万円以上5,000万円未満
- ☐ 5,000万円以上

Q6.

あなたの家族構成を教えてください。(該当するものすべて選択してください)

(いくつでも) **【必須】**

- ☐ 独身
- ☐ 配偶者
- ☐ 子1人
- ☐ 子2人
- ☐ 子3人以上

Q7.

あなたのお子様の通学先はインターナショナルスクールですか。

(ひとつだけ) **【必須】**

- ☐ 子どもは全員インターナショナルスクールに通わせている
- ☐ 子どもの一部をインターナショナルスクールに通わせている
- ☐ 子どもは全員現地の学校に通わせている

Q8.

あなたのお子様の通学先をインターナショナルスクールに変更することはお考えですか。

(ひとつだけ) 【必須】

- ☐ 検討している
- ☐ 検討していない

Q9.

あなたが希望する勤務地をお知らせください。

(いくつでも) 【必須】

- ☐ 欧州
- ☐ 北米
- ☐ 中東
- ☐ アジア (日本以外)
- ☐ 日本
- ☐ その他
- ☐ 海外勤務を希望しない

Q10.

転職について、家庭内における決定権はどなたにありますか。

(ひとつだけ) 【必須】

- ☐ どちらかと言えば自分
- ☐ どちらかと言えば配偶者

Q11.

あなたが海外勤務するとしたら、家族同伴ですか、単身ですか。

(ひとつだけ) 【必須】

- ☐ 同伴の可能性が高い
- ☐ 単身の可能性が高い
- ☐ わからない

Q12.

あなたが海外勤務先の居住環境について最も重視することは何ですか。

(ひとつだけ) 【必須】

- ☐ 住宅環境
- ☐ 医療環境
- ☐ 教育環境
- ☐ その他

Q13.

あなたにとって転勤先の教育環境はどれくらい重要ですか。

(ひとつだけ) 【必須】

- ☐ とても重要
- ☐ 重要
- ☐ どちらでもない
- ☐ 重要でない
- ☐ 全く重要でない

Q14.

海外勤務先でお子様を学校に通わせると仮定した場合、現地の学校とインターナショナルスクールのどちらを希望しますか。

(ひとつだけ) 【必須】

- ☐ 現地の学校
- ☐ インターナショナルスクール
- ☐ わからない

Q15.

あなたの勤務先では、インターナショナルスクール就学の際の補助等がありますか。

(ひとつだけ) 【必須】

- ☐ ある
- ☐ ない
- ☐ わからない

Q16.

お子様が現在通っているインターナショナルスクールは通学制と寄宿舎制（ボーディングスクール）のどちらですか。

(ひとつだけ) 【必須】

- ☐ 通学制
- ☐ 寄宿舎制

Q17.

お子様はどの課程から入学させていますか。

(ひとつだけ) 【必須】

- ☐ 幼稚園相当
- ☐ 小学校相当
- ☐ 中学校相当
- ☐ 高等学校相当

Q18.

インターナショナルスクールまでの距離は、アクセス時間にしてどれくらいですか（公共交通機関の利用を想定）

（ひとつだけ）【必須】

- ☐ 30分未満
☐ 30分以上1時間未満
☐ 1時間以上1時間30分未満
☐ 1時間30分以上2時間未満
☐ 2時間以上

Q19.

インターナショナルスクールを選択するにあたり、授業料（寄宿舎代等は含まない）は1人あたり年間どのくらいを想定していましたか。

（ひとつだけ）【必須】

- ☐ 1万米ドル以内
☐ 2万米ドル以内
☐ 3万米ドル以内
☐ 4万米ドル以内
☐ 5万米ドル以内
☐ 5万米ドル超でも可

Q20.

授業で主に使用する言語はどれですか。

（ひとつだけ）【必須】

- ☐ 英語
☐ 現地語
☐ その他

Q21.

学校を選択するにあたり、あなたが重視したこと（上位3個）を選択してください。



【必須】

	1位	2位	3位
大学進学実績	☐	☐	☐
教員の質	☐	☐	☐
生徒の数及び国籍	☐	☐	☐
学校にかかる費用	☐	☐	☐
学校設備（校舎の築年数、グラウンドの広さ等）	☐	☐	☐
採用しているカリキュラム【IB等国際認証、各国カリキュラム、宗教カリキュラム】	☐	☐	☐
立地（駅からの距離）	☐	☐	☐
立地（学校周辺の自然の豊かさ）	☐	☐	☐
その他	☐	☐	☐

Q22.

お子様の通学先をインターナショナルスクールに変更する場合、通学制と寄宿舎制のどちらを希望しますか。

(ひとつだけ) 【必須】

- ☐ 通学制
- ☐ 寄宿舎制
- ☐ どちらでも良い

Q23.

お子様はどの課程から入学させる予定ですか。

(ひとつだけ) 【必須】

- ☐ 幼稚園相当
- ☐ 小学校相当
- ☐ 中学校相当
- ☐ 高等学校相当

Q24.

インターナショナルスクールまでの距離は、アクセス時間にしてどれくらいを想定していますか（公共交通機関の利用を想定）

(ひとつだけ) 【必須】

- ☐ 30分以内
- ☐ 1時間以内
- ☐ 1時間30分以内
- ☐ 2時間以内
- ☐ 2時間超でも可

Q25.

1人あたりの授業料（寄宿舎代等は含まない）は、年間でどのくらいを想定していますか。

(ひとつだけ) 【必須】

- ☐ 1万米ドル以内
- ☐ 2万米ドル以内
- ☐ 3万米ドル以内
- ☐ 4万米ドル以内
- ☐ 5万米ドル以内
- ☐ 5万米ドル超でも可

Q26.

授業で主に使用する言語はどれを望みますか。

(ひとつだけ) 【必須】

- ☐ 英語
- ☐ 現地語
- ☐ その他

Q27.

学校を選択するにあたり、重視すること（上位3個）を選択してください。



【必須】

	1位	2位	3位
大学進学実績	☐	☐	☐
教員の質	☐	☐	☐
生徒の数及び国籍	☐	☐	☐
学校にかかる費用	☐	☐	☐
学校設備（校舎の築年数、グラウンドの広さ等）	☐	☐	☐
学校が有する国際認証【WASC（米国高校卒業資格）、CIS、ACSI（どちらも英国高校卒業資格）】	☐	☐	☐
採用しているカリキュラム【IB等国際認証、各国カリキュラム、宗教カリキュラム】	☐	☐	☐
立地（駅からの距離）	☐	☐	☐
立地（学校周辺の自然の豊かさ）	☐	☐	☐
その他	☐	☐	☐

Q28.

あなたのお子様に、どのような大学への進学を希望しますか。

(いくつでも) 【必須】

- ☐ 欧米の名門大学（ハーバード大学、イエール大学、プリンストン大学、ブラウン大学、ペンシルベニア大学、コロラド大学、ダートマス大学、コーネル大学、オックスフォード大学、ケンブリッジ大学、UCL[University College London]）
- ☐ その他欧米の公立大学（米国州立大学、英国ラッセルグループ等）
- ☐ 日本の名門大学（東京大学、京都大学、大阪大学）
- ☐ その他日本の地方国立大学
- ☐ アジア（日本以外）の名門大学（シンガポール国立大学、香港大、精華大、北京大等）
- ☐ その他
- ☐ わからない
- ☐ 大学進学を検討する年齢の子どもがいない

Q29.

大阪をはじめ、日本のインターナショナルスクールに対するあなたの期待や改善点、新たに設立するスクールに必要と思われる要素、海外勤務を考える際に周辺のインターナショナルスクール事情にどれくらい影響を受けるか、そしてその他の意見や提案について、どんなことでも自由に記述してください。

2. 英語版

Q1.

Please tell us your age.

(Single Answer)[Required]

- ☐ 20-29
- ☐ 30-39
- ☐ 40-49
- ☐ 50-59
- ☐ 60-69
- ☐ Other than above

Q2.

Please tell us your gender.

(Single Answer)[Required]

- ☐ Male
- ☐ Female
- ☐ I don't want to answer.

Q3.

Please tell us which of the following most accurately describes the employer you work for.

(Single Answer)[Required]

- ☐ Finance, insurance
- ☐ Academic research, professional and technical services
- ☐ Manufacturing
- ☐ Telecommunications
- ☐ Freelance
- ☐ Other

Q4.

Please tell us your individual annual income.

(Single Answer)[Required] ※調査を実施する際、現地通貨で表示

- ☐ Less than JPY 15,000,000
- ☐ 15,000,000 JPY to less than 20,000,000 JPY
- ☐ 20,000,000 JPY to less than 25,000,000 JPY
- ☐ 25,000,000 JPY to less than 30,000,000 JPY
- ☐ 30,000,000 JPY to less than 35,000,000 JPY
- ☐ 35,000,000 JPY to less than 40,000,000 JPY
- ☐ 40,000,000 JPY or more

Q5.

Please tell us your annual household income.

(Single Answer)[Required] ※調査を実施する際、現地通貨で表示

- ☐ 15,000,000 JPY to less than 20,000,000 JPY
- ☐ 20,000,000 JPY to less than 30,000,000 JPY
- ☐ 30,000,000 JPY to less than 40,000,000 JPY
- ☐ 40,000,000 JPY to less than 50,000,000 JPY
- ☐ 50,000,000 JPY or more

Q6.

Please tell us about your family structure. (Please select all that apply)

(Multiple Answer)[Required]

- ☒ Single
- ☐ Spouse
- ☐ 1 child
- ☐ 2 children
- ☐ 3 or more children

Q7.

Do your children attend an international school?

(Single Answer)[Required]

- ☐ All of my children attend an international school.
- ☐ Some of my children attend an international school.
- ☐ All of my children attend a local school.

Q8.

Are you considering changing your child's school to an international school?

(Single Answer)[Required]

- ☐ I am considering it.
- ☐ I am not considering it.

Q9.

Please tell us where you would like to work.

(Multiple Answer)[Required]

- ☐ Europe
- ☐ North America
- ☐ Middle East
- ☐ Asia (outside Japan)
- ☐ Japan
- ☐ Other
- ☒ I do not want to work overseas.

Q10.

Who has the authority to make decisions about work transfers within the family?

(Single Answer)[Required]

- ☐ More likely me
- ☐ More likely my spouse

Q11.

If you were to work abroad, would you be accompanied by family or go alone?

(Single Answer)[Required]

- ☐ I would probably be accompanied by my family.
- ☐ I would probably go alone.
- ☐ I don't know.

Q12.

What is most important to you about the living environment of your overseas workplace?

(Single Answer)[Required]

- ☐ Residential environment
- ☐ Medical treatment environment
- ☐ Education environment
- ☐ Other

Q13.

How important is the educational environment of the place you are transferring to for you?

(Single Answer)[Required]

- ☐ Very important
- ☐ Important
- ☐ I cannot say either way
- ☐ Not important
- ☐ Not important at all

Q14.

Assuming you would like your child to attend school at your overseas workplace, would you prefer a local school or an international school?

(Single Answer)[Required]

- ☐ Local school
- ☐ International school
- ☐ I don't know

Q15.

Does your employer provide any assistance for international school attendance?

(Single Answer)[Required]

- ☐ Yes
- ☐ No
- ☐ I don't know

Q16.

Is the international school your child currently attends a commuter school or a boarding school?

(Single Answer)[Required]

- ☐ Commuter school
- ☐ Boarding school

Q17.

From what course of study did you enroll your child in?

(Single Answer)[Required]

- ☐ Kindergarten equivalent
- ☐ Elementary school equivalent
- ☐ Junior high school equivalent
- ☐ High school equivalent

Q18.

What is the distance to the international school in terms of access time (assuming public transportation)?

(Single Answer)[Required]

- ☐ Less than 30 minutes
- ☐ 30 minutes to less than 1 hour
- ☐ 1 hour to less than 1 hour and 30 minutes
- ☐ 1 hour and 30 minutes to less than 2 hours
- ☐ 2 hours or more

Q19.

In choosing an international school, how much did you expect tuition (not including boarding fees, etc.) to cost per student per year?

(Single Answer)[Required]

- ☐ Less than 10,000 USD
- ☐ Less than 20,000 USD
- ☐ Less than 30,000 USD
- ☐ Less than 40,000 USD
- ☐ Less than 50,000 USD
- ☐ 50,000 USD or more

Q20.

Which language is the main language used in class?

(Single Answer)[Required]

- ☐ English
- ☐ Local language
- ☐ Other

Q21.

Please select the top three factors (top 3) that were important to you in selecting a school.



【必須】

	1st	2nd	3rd
Good for getting into university	☐	☐	☐
Quality of teaching staff	☐	☐	☐
Number and nationality of students	☐	☐	☐
Cost of school	☐	☐	☐
School facilities (age of school buildings, size of school grounds, etc.)	☐	☐	☐
International certifications held by the school (WASC (U.S. high school diploma), CIS, ACSI (both U.K. high school diplomas))	☐	☐	☐
Curriculum adopted by the school (IB and other international certifications, national curriculum, religious curriculum)	☐	☐	☐
Location (distance from station)	☐	☐	☐
Location (richness of nature around the school)	☐	☐	☐
Other	☐	☐	☐

Q22.

If you change your child's school to an international school, would you prefer a commuter school or a boarding school?

(Single Answer)[Required]

- ☐ Commuter school
- ☐ Boarding school
- ☐ Either is fine

Q23.

What course of study do you plan to enroll your child in?

(Single Answer)[Required]

- ☐ Kindergarten equivalent
- ☐ Elementary school equivalent
- ☐ Junior high school equivalent
- ☐ High school equivalent

Q24.

How far do you expect to be to the international school in terms of access time (assuming public transportation)

(Single Answer)[Required]

- ☐ Within 30 minutes
- ☐ Within 1 hour
- ☐ Within 1 hour and 30 minutes
- ☐ Within 2 hours
- ☐ Over 2 hours is possible

Q25.

What is your expected tuition per student per year (not including dormitory fees, etc.)?

(Single Answer)[Required]

- ☐ Less than 10,000 USD
- ☐ Less than 20,000 USD
- ☐ Less than 30,000 USD
- ☐ Less than 40,000 USD
- ☐ Less than 50,000 USD
- ☐ Over 50,000 USD is possible

Q26.

Which language would you like the main language used in class to be?

(Single Answer)[Required]

- ☐ English
- ☐ Local language
- ☐ Other

Q27.

Please select the top 3 things (top 3) that are important to you in selecting a school.



【必須】

	1st	2nd	3rd
Good for getting into university	☐	☐	☐
	1st	2nd	3rd
Quality of teaching staff	☐	☐	☐
Number and nationality of students	☐	☐	☐
Cost of school	☐	☐	☐
School facilities (age of school buildings, size of school grounds, etc.)	☐	☐	☐
International certifications held by the school (WASC (U.S. high school diploma), CIS, ACSI (both U.K. high school diplomas))	☐	☐	☐
Curriculum adopted by the school (IB and other international certifications, national curriculum, religious curriculum)	☐	☐	☐
Location (distance from station)	☐	☐	☐
Location (richness of nature around the school)	☐	☐	☐
Other	☐	☐	☐

Q28.

What type of university would you like your child to attend?

(Multiple Answer)[Required]

- ☐ A prestigious university in Europe or the U.S. (Harvard University, Yale University, Princeton University, Brown University, University of Pennsylvania, Columbia University, Dartmouth College, Cornell University, Oxford University, Cambridge University, UCL (University College London))
- ☐ Other public universities in Europe or the U.S. (U.S. state universities, Russell Group in the U.K., etc.)
- ☐ Prestigious Japanese universities (University of Tokyo, Kyoto University, Osaka University)
- ☐ Other Japanese regional national universities
- ☐ Other prestigious Asian (non-Japanese) universities (National University of Singapore, Hong Kong University, Tsinghua University, Peking University, etc.)
- ☐ Other
- ☒ I don't know.
- ☒ I don't have a child at the age at which I would consider going to university.

Q29.

Please feel free to describe your expectations for international schools in Osaka and elsewhere in Japan, any improvements you would like to see, what elements you think are necessary in establishing a new school, how much you would be influenced by the surrounding international school situation when considering working abroad, and any other comments or suggestions you would like to make.